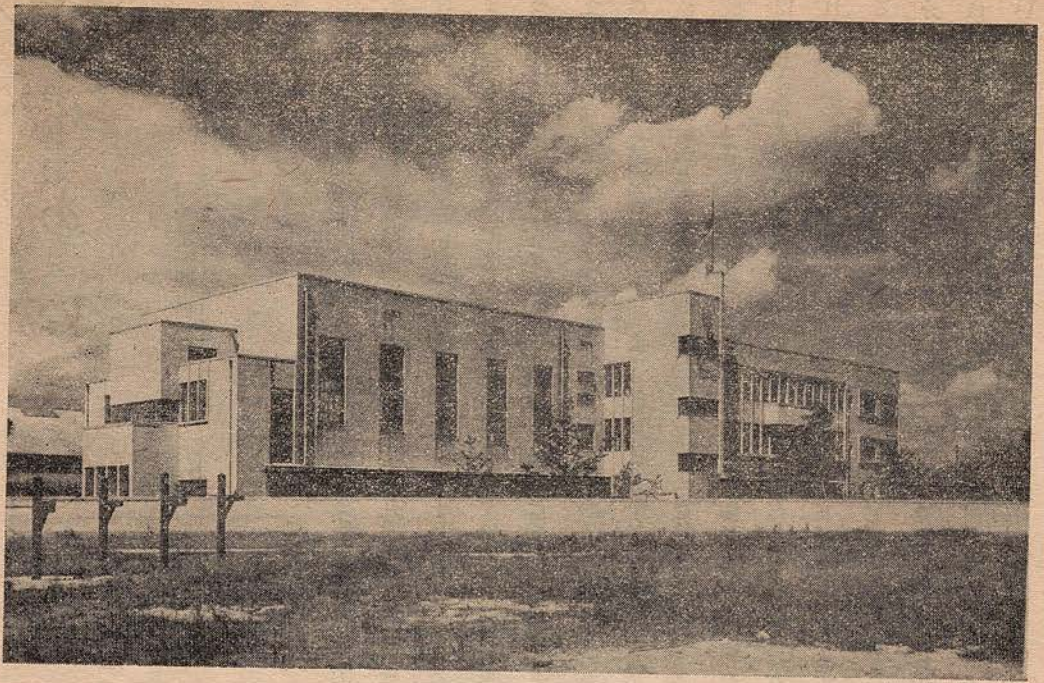


經 済

第 七 號



大阪經濟大学同窓会



目

次

あいさつ	同窓会理事長 渡辺達好	2
同窓生諸兄に	母校学長 福井孝治	3
菅野先生の外遊		5
この一年の歩み	総務部	4
黒正先生の追憶会	岡山支部	8
国民反省の歌	澁谷 藹	16
うちの学風	土生秀穂	10
恩師の思い出	山上善彦	6
会員の皆様に望む	井手経三	9

特 輯 旧師の近況

河野先生		12
武田先生		12
建林先生		12
本能自由主義	磯野 齊	13
回顧十余年	串岡 茂	15
昭和三十年度卒業生名簿		25

支部便り

姫路支部		14
関門支部		7
神戸支部		9
高松支部		11
自動車部会		14
歌		22
随想		24

学園便り

事務局雑報		18
学生自治会		18
運動各部		19
学術各部		21
応援団結成に当て		23
応援団歌募集規定		23
編輯後記		35



あいさつ

同窓会理事長 渡辺達好

同窓生の皆様！

明けまして御芽出度う御座居ます。
会誌第六号を通じて新年の御挨拶を申し上げます。今又本誌を通じて新年の御挨拶を申し上げます。年を迎えることになりました。つくづく月日の過つのが早く、何時までも若くていたいと思う歳がどんどん過ぎて行く様な気がして、淋しい様な惜しい様な気がしてなりません。而してこうして月日のたつのも忘れてどうにか過しているのは何かと仕事の多忙なことに、自分の健康の故ではなからうかと寧ろ私は私なりに自分の恵れた健康を喜んで居る次第です。唯かし皆様にも健康で、たのしい御正月を御迎えに

いますのに、ようこそ御出になつて頂きました。とりわけ今迄御参加の御出になつた古い年度の御卒業の方々が多数御出席になり懐かしい昔語りにつきせぬ花を咲かせておられました。特に北海道から懇々本総会に御参加頂いた会員が御出になつたのは実に感激に堪えませんでした。多数支部代表の御参加は勿論でありましたが、遠く関門支部より代表が御出されました。此の様な平和な姿こそは私共の学園でなければ味えない持味では、なからうかと思ひます。当日御都合で御出席の出来なかつた近郊の皆様には残念で御座居ました。どうか遠方で御活躍の皆様方には遠来の御出席仲々のことと思ひますが是非一度来るべき総会に御出席頂き此の香高い同窓会の雰囲気をお楽しみ下さる様御願ひ申上ります。

を割いての大きな仕事、本年こそは皆様に喜んで頂ける立派なものと思ひ、一回の宇野さん始め編集の方々が日夜其の資料の蒐集、原稿の作成に莫大の努力を傾注して戴いております。或は又予期に反しまして物足りない様なものになるかも知れませんが編集者皆様の御苦勞に免じ何卒御寛大なる御容赦を賜り度いと存じます。本郷江も又年末の多忙期に万難を排して編集部員皆様の御骨折の結晶とも云うべきものです。此の中にもなされている内容は迎も満足のいただけるものではないかも知れませんが、母校の諸先生や、瀬谷河野、建林(順序不同)の各旧恩師の心からなる御便りを頂きましたことは何とも感激の外なく、御礼の申様もないことです。誌上を通じ厚く御礼を申し上げます。尚会員の皆様にも進んで御投稿を頂きました。どうぞささやかではありますがこの豊かなよりを御賞読下さい。



同窓生諸兄に

母校学長 福井孝治

私は伝記を読むことが好きだ。といつても、勿論、職掌上、思想家、学者といわれる人々の伝記が主であるが。彼らの伝記を読むと彼らの思想の成長に対して高等学校や大学の課程が如何に大きな役目を務めているかがよく分かる。そして、私たちの責任の重いことを痛感するのである。ヘーゲルがチュービンゲン大学の学生時代にヘルデルリン、シェリングという二人の能才を友とし同じ部屋に起居して、生、愛、精神等の諸問題について共に語り共に研究したことは有名な話であるが、同時にブラック、シュヌアラ等のすぐれた教師がこれら若い人々に与え

た刺激をも見のがすことが出来た。母方の系統からすぐれた学者的資質を受けつぎ、すぐれた母や叔父や従兄弟をもつたばかりでなく、父の友人として著名な学者をもつことが出来たマックス・ウェーバ



福井学長

アの場合には、大学の課程が直接彼の思想の発展に及ぼした影響は比較的少なかつたようであるが、ハイデルベルグ大学において剣闘部の部員として受けた厳格な訓練が彼れの剛毅な人格の形成に及ぼした影響については、彼自身當時を回顧して「少年期の臆病や感い

の心を駆逐した」と洩していることによつても知られるのである。同窓生諸兄も在学当時を回想して見られるならば、学生々々が諸兄の思想人格の形成に及ぼした影響について思い当られることが定め

を読み、わが国の学生々活との余りにも甚だしい懸隔に長大息を禁じえなかつた。古い伝統と豊富な資金とをもつたケンブリッジの真似などは及ぶところでないし、またあのような貴族趣味は私の目ざすところでもない。しかし、わが新制大学がアメリカの制度を真似たものである以上、単に形式だけでなく内容的にもアメリカに負けない程度に早くなりたいものである。私学は同窓会のバックなしには到底存立しえない。過日の同窓会総会で示された溢るるばかりの諸兄の愛核心に支援されて、歩一歩内容を充実して行きたいというのが、私の願ひである。





一年間の歩み

総務部

毎年毎年私共の生活の上には色々な変
つた事が起りつつありますが、この一年
間も又必ずしも朗らかな出来事ばかりで
あつたとは云えません。考えれば来る年
も来る年も悩みの盡きない世の中ではあ
りますが、これを切り抜ける気力を失は
ない人のみが生き得る時代かも知れませ
ん。人間ドックが流行つたり、中年男の
精神衛生が話題となつたり、何れも悩み
に克たんとする人間の足掻きと思われま
す。新病ノイローゼも所詮それ等の副産
物でしょう。

ともあれこんな世情の中で私共の心の
憩の場である同窓会のみが逐年発展し朗
らかなニュースを送り得ますことは私共
のみが享け得る慶びであると思います、
左に一年間の事業概要を御報告申し上げ
ますが何れも堅実に発展して行く足跡と

して御読み頂きた
いと思います。

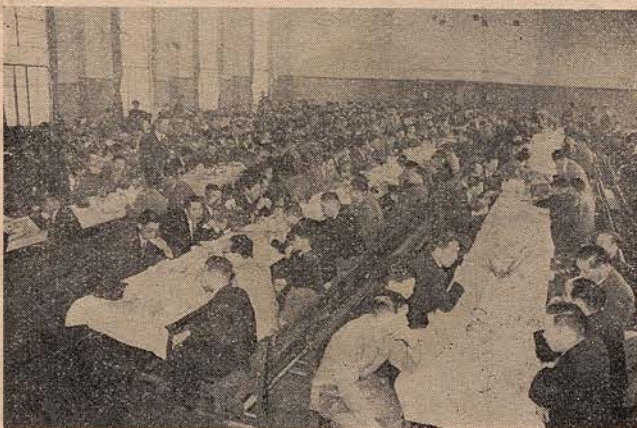
一、会則役員

永年懸案の会則
も一昨年十一月の
総会で御賛同を得
ました事は御承知
の通りであります

尚役員は大部分が
留任となり理事長
には従前通り渡辺
達好氏が再選され
ました。(澁江第
六号御参照願いま
す)

二、黒正先生七年祭

別稿岡山支部からの便りの通り昨年九
月四日黒正先生御生誕及び御終焉の地岡
山在住同窓生の主催で本部及び他支部御
援助の下に盛大に行いました。



山在住同窓生の主催で本部及び他支部御
援助の下に盛大に行いました。

三、学園対策

後掲決算書に現れています通り学園対
策費の科目を設けましたが、之は学園学
生同窓生の因果関係を考えまして後輩の
指導育成と学園に
対する協力援助を
出来る限り進める
ことといたしました
た。昨年度行いま
した事は
イ、学生自治会と
の懇談会
ロ、就職斡旋懇談
会
ハ、学術優秀思想
堅固な学生の
表彰、昭和三十
年度卒業生表彰者
第一学部 盛本正幸君 秋山博君
第二学部 岡村浩吉君
以上三名に表彰状並びに置時計を贈りまし
た。

大阪市役所支部便り

昭和二十九年十二月

忘年会 南料亭「富士」

学長、奥村先生、中村先生

同窓会本部 世良、宇野両氏

菅野先生出席予定のところ、

急用にて上京のため欠席の旨

電報があつた。

昭和三十年九月三日、四日

懇親会 芦屋「苦楽山荘」

学校、同窓会は岡山支部の黒

正先生追憶会に出席のため欠

席、当日支部から追憶電報と

祭料を岡山支部あて送付

現支部会員 二十四名



七、会計報告

昭和三十年十一月二十日総会に左の決
算表を提出、皆様の御承認を得ました。

(自昭和二十九年十月一日
至昭和三十年九月三十日)

収入の部

前年度繰越金 六六九、八五九円
会費収入 六八四、七〇〇〃
名簿収入 一三、五二五〃
寄附金 二、〇〇〇〃
(関門支部より)

計 支出の部 一、三七〇、〇八四〃
総会費 九六、〇七六円
役員会費 九二、九三五〃
支部費 一三七、四〇〇〃
学園対策費 五七、八八五〃
編輯費 一二〇、一八一〃
事務費 三一、九四五〃
臨時費 八〇、六六五〃
(故黒正学長七年祭費用於岡山市)

次年度へ繰越 七五二、九九七〃
計 一、三七〇、〇八四〃

八、財団評議員の選任

第一回の市原さんが永らく評議員とし

二、講堂に暗幕兼用のカーテンを寄附い
たしました。今年の総会御出席者は御覧
になつたと思いますが講堂も一段と引立
つ様になりました。

四、澁江発行

昨年から組織中に編輯部を独立させ確
実に豊富な記事を毎年皆様に送る様にし
ました。表紙も正面の時計塔を入れ澁江
の流れはSの字を型どりその流れる経
大の紋章を配しました。

五、昭和三十年年度総会

卒業生四千名戦病死された方及び消息
不明者を除き住所の判つて居る者約三千
名ですが皆様に通知を出しました処一千
名の方から御返事を頂き五百名も出席さ

菅野先生が大阪地区最高点で当選され中央政界で御活躍をなさつていますこ
とは皆様既に御承知の通りであります。

菅野先生の外遊

昨年九月重光外相の随員として渡来され、更に単独で嘗ての御留学の地歐洲
に渡られ、原子主義時代とも云うべき現代世界経済の機構の研究と歐洲の復興
状況を御視察の
上十一月十一日
帰阪されました*
々保守合同問題で御上京中でしたが、猶先生は当日その時刻に空路帰ると申さ
れていました。政界の緊急事のため終に出席不能の電報を頂き残念でしたが
必ず一度先生の世界経済に対する抱負を聞かせて頂きたいと思つてゐる次第で
御座います。

て御活躍頂きましたが四、五年前から千
葉県へ御転住され出席出来なくなりまし
たので、その代りに第一回宇野善四郎兄
を推薦選任致し御活躍願うこととなりま
した。これで同窓会からの評議員は宇野
渡辺、山上、世良と四名揃つて毎回出席
出来る事となりました。

九、最後に大北先生は三年間の御病床生
活に終止符を打たれ過般来、週に一、二
回学校に出られる様になりました。過日
の総会にも出席され皆様にも御挨拶され
ました通りであります。開口一番、先
づ我々教え子の健康を御心配されて居る
御話があり何時にも変らぬ親心に感銘致
した次第であります。尚梅田先生は昨年
二月二十一日国立貝塚療養所で右肺一部
抽出の大手術を敢行され奇跡的に経過
非常に良好で既に一週間程度の外泊も許
可されビールの一本位は大丈夫の様です
昭和三十一年度の総会には元氣な御顔が
見られる事と喜んでゐます。以上御二万
の御健康回復が昨年度の一番明るいニ
ュースだと思ひます。

(総務部長 世良鍊次)



思出の恩師

山上善彦

母校を巣立ちして早二十余年がまたたく間に過ぎ去つて、自分もぼつぼつ頭に白いものを頂く様になり、すっかり四人の子供達(二男二女)の良き父親になつていました。家庭では至極良き父であつても、まだ心持ちだけは何時に変わらなく二十年前の学徒の気持ちで、本日に昨日今日此頃学校を終へた様に思はれ、其の頃の学徒の事共が走馬燈の如く思ひ出されて来るのである。

以下当時の思ひ出の恩師について一寸記して見よう。

黒正先生の校長御就任

確かに昭和十年九月夏休みも終り第二学期も始まつた最初の日の事である。あの講堂に学生全員集合命令がかつた。此日こそ私共母校が一段と天下の高商として輝やかしいスタートを切つた意義深き第一日であつたのである。私共は楽しい夏休中一体今度はどんな先生が私共の校長

の目標がはつきりと決められて、学徒の本分を尽す決意を更に固めることが出来たのである。此御就任の日の一瞬は未だに自分の脳裡に深く刻み込まれ学園の発展につれて愈々忘れ得ぬものとなることを信ずる次第である。而るに先生とは今はもう幽明境を異に致さねばならぬ事となつたが、先生は今も尚我が昭和学園の発展をはるかな彼方より御見守つて下さつて居ることと信じて居ります。丁度時あたかも昭和三十年九月先生の七年祭を迎へ私もその祭礼に参列させて頂き先生の御霊前に改めて先生の御冥福を心より御祈りした次第であります。

菅野先生の特別講義

先生の特別講義は御承知の日本商業史であつた。先生も黒正先生と同じく私達の学園更生の一大恩人であります。当時の講義もたしかに一句一句はつきりと其の講義の内容をノートする事が出来て学生諸君の本当に緊張した楽しみのある講義でありました。丁度先生が私共卒業の近づいた時間に就職の極意に就いて語られた。即ち就職は一般の人々が皆行く処へは行かずに、人の余り行かぬ

蒔谷先生の親子の情愛

先生は倫理学の講義に於いては実に三ヶ年間「親子の情愛」と云う同じテーマで我国家族制度のことについて倫理観念の明徴を説得されたものである。当時、高商の生徒間では余りにも有名なものであつた。其の日の講義を京都から大阪に来られる電車でまゝとめられて来るとかで、先生独特の名句調で講義をして下さつた。先生は日本趣味豊かな方で常に羽織袴姿でノートは懐にしまひ込んで居られた。所が時によると一夏の頃になると思ひ出した様に洋服を着て来られたことがありました。其のスタイルたるやノータイ(今で云ふ所謂オープンワイシャツ姿で大変涼しく衛生上大変よろしいので今で

思つて居ります。先生には今でも年に一度のお便りですが年賀状を送りして居りますが、新年に際して其の年の干支に因んだ俳句を頂いて居ります。本年も全く最近の国情を眺められて憂国の情に堪え難く更に再建日本復興の現状を判然と見とけるまでは死んでも死に切れぬと最近の世相をなげかれて居ります。

米津先生の訓へ

先生は独乙語を講義して下さいました。現在会員十九名を擁し、先に第一回会合を持ち名簿の作成及第二回会合を十二月十日に予定する等、活潑に動き始めて居ります。

本格的には第二回会合以後、種々行事を行う予定であり、同窓生諸兄も、御来関の際は御立寄り下さい。事務局は左記の通りです。

下関市西細江町一三番地
山口県植物油脂工業協同組合
気付
大阪経済大学同窓会関門支部

小林和人



関門支部便り

Lebewohl Kommitionen! Steht nach hohen Zielen und schätzt die Ehre teuer. Marschiert tapfer vorwärts in alle Welt, und werdet auf jeden Feinde Pionier und Führer, Euer selbst, eures Vaterlandes und der ganzen

Manscheit. Achtet jede minute des Lebens, Erfülle gewissenhaft eure tägliche Pflicht Ringet trotz mit allen Schwengketen. Werdet ihr 7 mal zu Fall gebracht, steht 8 mal wieder auf. Dann wird zuletzt der Sieg euer sein. Kehrt oft heim zur Alma Mater. Schöpft aus dem Brunnen der Wahrheit des Lebens, und wascht den Staub des Kampfes ab. Und verbindet die Wunden.

「こゝろをば。若者よ大望を抱き名を惜しめ。気鋭挺身四方に赴き、独立不羈の開拓者たれ。汝と祖国と世界の為に。其の故に生命を貰ひ寸陰を惜しみて日々の業務を励むべし。剛毅不屈、困難と格闘せよ。七転八起勝利は遂に汝のものたるべし。又時に汝が母校に帰りて真理と命の霊泉を汲み戦塵を払ひ征伐を洗へかし」である。

また外の先生方の思出も種々ありますが今回は此にて筆を擱くことに致しますが二十年を経た今日尚且脳裡に種々の思出を多く残して呉れた学園に学んだ自分は本当に幸福であると思つて居ります。終りに同窓生各位の益々御多幸ならんことを祈念致します。

(高田アルミニウム製作所勤務)

追憶式典

岡山支部



黒正先生

故 黒正学長昇天されてここに満六ヶ
年を迎へて、大阪経済大学同窓会岡山支
部多年の計画である追憶式典を計画する
や、同窓会本部学園側、全国各支部の真
心溢れる御援助と在岡の先生の知人、友
人、岡山大学等の御協力を得て去る九月
四日岡山市石関町岡山県社会福祉会館で
盛大に挙行致しました。当日
の模様を御報告すると共に御
協力下さいました方々に厚く
御礼申し上げます。

当日の出席者は学校側、同
窓会関係者八十名在学生二十
名、知人友人の方々約三十名
来賓の方、約三十名の多数に
達し、それに奥様御子様御二
人を迎へて、午前十一時三十
分より開式しました。式次第
に随ひ六回卒、得光警雄君開
式の辞を述べここに厳肅なる
追憶式典が、岡山県和氣神社赤木宮司々
主となり行われて参りました。先生の
幼時よりの経歴をつぶさに述べられ遺
徳と遺業の偉大さをたたへる祭文につ
いで玉串奉典、並に追憶の辞に移るや満
場、しゆくとして声なく唯、故先生のあ
の漫顔の遺影を見る目は参列者一人一人



先生に向つて何事かを語つて居る様でし
た。この時祭主岡山支部長進み出て玉串
奉典をなし、落涙の内に追憶の辞を捧げ
るに続いて、未亡人、遺児、岡山市々長
田淵久氏、ラジオ山陽社長谷口久吉氏、
岡山大学々長清水多栄氏、本学福井学長
教職員代表藤原先生、同窓会理事長渡辺
達好氏、六高
同窓代表岡山
大学林秀一教
授、朝日高等
学校長原田親
氏、岡山一中
同窓生代表柴
田博衛氏、学
生代表酒井君
等の玉串奉典
並に追憶の辞
がしゆくしゆ
くとして行な
はれて行き、次いで学園理事服部武雄氏
大北文次郎教授、松村宇治教授、平田隆
夫教授、大阪市役所支部、京都支部、神
戸支部、東海支部、東京支部、石川支部
松本時宏氏等の熱情充ちたる追憶文、電
文の朗読を捧げ終るや靈前に大阪経済大
学々歌の奉唱を最後に赤木宮司による昇

魂の儀によつて式次第の終了となり七回
卒、久保雄一郎君の開式の辞を以て慈な
く式典を終り時に午後十二時三十分。
式後同会場に於て追憶座談会に移り十
一回卒、村上二夫君の開会の辞に依つて
岡山支部長司会者となり、元本学職員富
岡きみ女史園長の岡山女子自由学園の生
徒の方々の御奉仕の内に、故黒正学長の
追憶談と宴会の行程に入り、先ず先生在
岡当時親交の厚かつたラジオ山陽社長谷
口久吉氏の烈々たる追憶談に全員傾聴し
次いで先生幼時よりの友人郷土史家岡長
平氏によりユーモアの内に涙をさそう思
い出話の後、福井学長、奥村教授、岡山
大学大山教授、林教授、関西高等学校長
高畑浅次郎氏等のお話を承り参列者一同
に深い感銘と追慕の念をいやが上にも高
くし岡山支部長は参列者一同に岡山支部
を代表して厚く感謝する辞を以て閉会
し、午後二時三十分特別バス二台を以て
先生の墓参をなし、ここにすべての行事
を無事終了致しました。会場に残りし世
話人一同、唯声なく手を握り合つてこの
成功を喜び静かな式場にかけられてある
先生の遺影の前に再び集り、心から御冥
福をお祈りすると共に御協力を賜つた方
々に、深く感謝の念を捧げた次第です。

(支部長 大森喜太志)



井手 經三

光陰矢の如しと申しますが、黒正先生
が亡くなられてから早くも六年になりま
す。

先生を知っている最後の学生が社会に
出たのもすでに二年前のことです。また
先生の御在世当時の学園の空気をよく御
存じの先生方も現在では十人に満たない
少数となりました。

私が本学に参りましたのは先生の亡く
なられる半年前のことで、先生に接する
機会は極めて少なかったものではありま
すが、なお自由と融和の気風が学園内に充
満していることを事毎に痛感致しました

當時は大阪経済大学の発足に伴い、私と
同時に多数の先生方が本学に來られまし
たが、すべての方が私と同じことを感じ
られたと確信致します。

先生亡き後の六年間に、当時の気風も

徐々に變つて参りました。一口に申せば
学園は發展の氣運に向つていと言えま
しょう。昼夜合わせて二千五百に近い学
生、六十名を超える専任の教職員、從來
の校舎の西端をなす三階建百五十坪の図
書館と新校舎はこのことを端的に物語つ
ております。

だがそれにもかかわらず、本学の美し
い伝統である自由と融和の気風は表面か
ら觀察される發展の現象とは逆に、次第
に稀薄になつて来るように感ずるのは私
だけの抱く偏見に過ぎないのでしょう
か。

私が何を聞き、何を見ることによつて
そのような感じをもつたかは、私にもは
つきり表現することはできません。ただ
ここで私が皆様にお願ひしたいことは現
在の学園内のふん囲氣を充分に感じ取つ
て頂ける機会をもつと多くして頂きたい

と云うことです。

どうか遠くの方も近所の方も從來以上
に屢々私共をお訪ね下さい。いやもつと
よい方法は学園の経営と学園での教育に
皆様の更に多数の方が参加され、日夜学
園での生活を経験されることです。

現在皆様の中から、少数の評議員と更
に少数の勤務者が本学の中におられるに
過ぎません。同窓会幹部の皆様、近い将
來更に多くの評議員と、その中からは何
人かの理事を我等の学園に送り得るよう
御努力下さい。

大学院に在籍され或は之を卒業された
会員の皆様、本学の教員組織の中へどし
どしお入り下さるよう機会をつかんで下
さい。

私の感じたことが偏見に過ぎなかつた
としても、皆様が現在以上に強力に学園
を見守つて下さるならば、それは学園に
とつてよいことであることには変わりな
いのですから。

(母校助教)

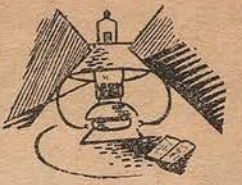
神戸支部便り

支部長 K

梅雨煙る六月十一日(土)にト
アロード北京飯店にて四年振りで神
戸支部親睦総会を開催致しました。
この日の出席者は支部長以下三十二
名の大多数で盛会でした。神戸支部
は西は明石、東は尼ヶ崎と神戸を中心
に阪神間をも含めた大世帯であり
之が貿易港と云はれる神戸港を中心
に昭和学園精神に徹したフアイター
の寄集まりであり、その活動も他
支部に負けない自信はありますがそ
れ丈にその統轄には他支部には見ら
れぬ程に一方ならぬ苦勞がありま
す。それ丈に非常に和やかであり且
愉快であります事も之亦他に例を見
ないのではないかと自負しております。

当日も別に定まつた議題を持つた
訳ではありませんが久方振りに一度
懇談会を開いてみてはと云ふ事にな
り開催致しました。外海波吉支部長
の挨拶に始まり福井学長、藤原教授
より学校の現況について報告を受け
又同窓会本部より遠路御出席願つた
山上常任理事より本部活動並に各支
部の活動状況について詳細報告あり
その後は昔の話に花が咲きその話の
盡きる事を知らず時間の短さを知り
このままお互に何時迄も続けられた
らと思ふ程、そして盡きぬ思いを
残しながら再会を約しつつ西に東に
別れて行きました。

右総会報告を以つて神戸支部だよ
りにかへます。



「うち」の学風

土 生 秀 穂

国には国風或は国柄がある。同じく学校には学風があり、会社には社風がある。風とは、風俗風習の風、即ちならわしの意味(但し、風の語にはならわしの義はない。元來風俗という語は、ならわしが社会によつて異なること宛も気候景色の異なるに同じいという意味の、百里不同風、千里不同俗の句から出たと云われ、風は「かぜ」から転化した気候景色を意味する。尤も此の場合、風は風体の風と同じく、姿或は有様の意であるとの説もある。社会学的に識訳すれば、習俗(フオーク、ウエーズ)慣習制度をも含むと習律(モーレス)即ち習俗の中、特に道徳性従つて規範力の強いものを意味する。

柄は、家柄人柄の柄、即ち性質品等の意、或は着物の柄の柄、即ち性質品等を決定する模様の意。社会学的に云えば、或社会の文化的特殊性を意味する文化型

(ステータス)課長か平社員か、資本家か労働者(等)、役割(ロール)課長として、教師として、父等々として社会的に期待せられる思考及び行動の様式)によつて異なる。

かくて、学風とは、或る学校に特有な思考行動の様式、価値規範、行動規範のことである。かような風は、しかし、一朝一夕で出来上つたものではなく、長い歴史的背景をもつていた伝統である。通俗用語としては、伝統(トラディツション)、慣例(或は慣行)コンヴェンション、慣習(カストム)は屢々混同せられるが、これは正しくない。何れも古くから伝えられ、古きが故に価値を有し、古さに比例して価値を増す点においては異なる所がない。慣例は、便利だという効用性の故に社会的に承認せられた行動様式で、ゲゼルシャフト的な契約である。慣習は、必ずしも効用性の故に社会的承認を得ているのではなく、年少のうちから心に植えつけられ習慣づけられて、無意識に従っている行動様式(ウエーズ・オブ・アクション)で、ゲマインシャフトに属し封鎖性で、且つ一種の強制力を有する。此の強制力の源泉は力(パワー)である。伝統もゲマインシャフトの中に成立した封鎖的なものである点は慣習に

を認めるに吝かではない。しかし、第一に家族主義であるか、これは、愛着的結合、全人格的結合即ちゲマインシャフト的結合を意味する。所が、社会学的通念によれば、学校は利益的結合(学問文化の授受という)、一面的機能的結合即ちゲゼルシャフト的結合に属する。そしてあらゆる集団と同様、成員の数が増加する程、その運営を円滑に能率的たらしめるために、合理的なフォーマル・オーガニゼーションを必要とする。此の事はまさしく、ゲゼルシャフト的結合の特質であり、家族的結合の情緒性即ち非合理性と、人格的全面性に反する。従つて単科大学とは云え、今日のように学生数の大きくつた状態で、家族主義を維持してゆくことは極めて困難であり、事実此の伝統に反する現象が屢々起つてゐる。

しかし、今日の米国の大企業において合理化、官僚制の極、その非人間性従つて士気(モラル)と能率の低下に堪えかねて、フォーマル・オーガニゼーションの中にかくれている、インフォーマル・オーガニゼーションとしてのヒューマン・リレーションを生かして、もつと人間味のある暖かい従つて労働者の主体的満足と士気の高揚を目ざした人事管理の必要が注目され、着々実行に移されて

いる事情に鑑みれば、極度にゲゼルシャフト化した大組織の中にも尚お、家族的結合の余地のあることが悟られる。また一方、あらゆる教育のうちで、最も効果のある教育は、愛による教育であるということは、古くてもいかにもいつまでも生命を失ふ教育原理であることを思えば、此の家族主義の伝統は守り抜かねばならぬと共に、その実現の具体的方法の研究に真剣に取り組まねばならぬことを凄々と痛感する。次に、ガンバリズムであるが、いかなる場合でも、自己の目的を実現するために、あらゆる困難支障に打ち克つて、ガンバリ通することの必要なのは云うまでもない。第三に、実力もないくせに、精一杯背伸びをして、うすつべらに派手に自己を売り込もうとするのは、確かに賤しく見苦しく、且つ成功率が低い。ステツディ・アンド・シユアに地道に実力を養ひ他日の勇飛に備えることは、殊に訓練時代の学生としては当然のことである。だから、此の二つも亦、うちの伝統として守り育ててゆくのに何等躊躇すべき所はない。とは云え、次の点に多少の遺憾を感じる。(一)剛健質実という語が、何となく封建的な、或は軍事型社会的な臭味があつて、果して現代社会に処するに最適の資質であるかどうかにかんして疑問の余地があり、従つて現代学年

にアツピールする力に乏しいこと。(二)剛健質実だけでは、社会性と進歩性に欠けていること。教育の目的は、単に生計の資を得ることもなく、単に過去の文化を伝承するだけでもない。「とかく浮世は住みにくい」その浮世(社会)を、万人が平等に少しでも住みよい社会たらしめるための文化の創造進歩にあることは云うまでもあるまい。ガンバリも地道な実力養成も此の目的に反しないばかりか有力な方法ではあるが、単に手段方法だけで、その目的や方向が打ち出されていない憾がある。

此等の伝統的学風は、古くからの諸先生と卒業生諸君が二十年がかりで営々と築き上げられた尊い遺産ではあるが、伝統は固定不変ではなく、今日も亦日々、我々と現在の学生によつて造られつつあるのである。従つて、今日の我々の責務は、伝統としての学風を再確認し之を守ると共に、その足りない所を補ひ、之に何物かをプラスすることだけではない。さして、さして、何をプラスすべきか。現在の教師と学生が協力一致して、真剣に考え実践すべきことは当然だが、学校は決して現在の我々だけのものではなく、卒業生諸君のものでもある。此の意味で、同窓生諸君も、いよいよ益々輝かしい伝統学風の樹立に協力せられんことを切望する。(本学教授学生部長)

高松

支部 便り

観光高松、夜の御紹介

四国高松と云えば栗林公園・屋嶋・琴平が御家族すれの絶好のコースであるが、ここでは趣きをかへて夜のお紹介を致します。最初にご注意申し上げて置きますが四国の女は特に高松の女は純情だから一寸モーションをかけるとすぐ惚れます。惚れられたら何処迄でもついて来るから念の為。

お酒で高松の情緒の味わい方

- A級では二蝶、多津美
- B級では折鶴、登志
- 安いのを好まれる方は
- C級で一流、大和

ダンスでは

「レインボー」「メトロ」

があり、コーヒの店で静かなところは

不二ノ屋 神戸

音楽では

蜜蜂

旅館では

A級では ホテル川六

B級では 金星館、井戸屋

安くて安心なのは

C級として 銀星

お座敷芸術と云うものが最近有名になりましたが、たいしたことありません。

旧師の御近況

毎号の特輯に致しますので御投稿御願申上れます

小生頭のでつぺんもうすくなり年をとりました。その筈ですあの時分生れた男の子がもう高校一年になり、その下に女の子が二人いて一人は中学一年、末娘は小学校四年です。から、こちらには民法の河野先生が居りますとてもお元気で相変らずの名講義それに地

事志と違つて転落してつた今日、何をかいはんやである。黒正先生と菅野先生との御恩顧による昭和十年より十五年十二月迄の昭和商での生活は私にとつて最も意義あり最も輝かしい楽しい時であつた事が年と共に明瞭に浮び上る。

終戦で私の新生活は初まつているが、それは老骨に頼つともいふべき無意義の肉体的生活の継続であるに過ぎない。全く意気地のな弱い

建林正喜先生より

元氣なだけが取柄ですがそのおかげで研究生活が迎も楽しいです。もう十五年も廿年も昔ですものね、皆変つたでしょうな。どうぞ時々母校や皆さんの様子、とりわけ第五回C組（建五会とかいう名前をつけてくれました。伊吹君や岩本君などの回です。）の方々の様子をお知らせ下さい。

（元母校教授、現広島大学教授）

武田長太郎先生より

由で所謂世の敗残者である。顧みて慚愧に堪へない。いづれ過ぎ去りし年の思ひ出にのみ楽しみを見出すであろう老の身に到れば、昭和商時代の輝やきを増して私の全生涯となつて来るでせう。同窓生の方々の御活躍はこの思ひ出の楽しさを一段と加へ、汲めども尽きぬ泉のその様に消え行く身を歓喜に浸しめるであろうことを確信している。

（元母校教授、現岡山短大教授）

私は、目下、広島大学政経学部につとめております。昭和商から彦根高商山口経専（山口大学経済学部）を経て広島に來たわけですが、この四校のうち昭和商に勤務したのが一番ながく、創立から昭和十七年の秋まで御厄介になりました。従つて、立派な校舎新築のことと学生諸君のこと、諸先生のこと、其の他数々のなつかしい想出が有りまして、今でも折にふれ色々な記念写真を出してみて当時をしのんでおります。

在職中に柄にもなく野球部長や馬術部長をつとめておりましたのでその方面の想い出殊に野球部関係の想い出が一番多く頭に残っております。當時はまた学校も若く従つて運動部の歴史も狭いものですから選手諸君と共に色々な苦勞をしましたが、

河野実先生より

だんだん頭角を現わして、関西地方の学生球界では厳然たる存在を認められる様になり、早稲田大学や関西学院大学なども試合をしたことを憶えております。今、野球部はどんな様子か知りませんがそんなことも有つたことを同窓生や在学生の皆さんに知つて頂きたいと思ひます。なお、広島大学工学部の工業経営学科には建林正喜先生がおられます。時々お会いしますが大変御元氣です。同窓生もタントおられます。四五年前に一度会合に出席して以来、いつしよにお会いする機会がありませんが、時には訪ねて下さる方もあつて、それぞれ御活躍の御様子を聞いております。終りに学園と同窓会の御発展を切に祈ります。

（元母校教授、現広島大学教授）



本能自由主義

磯野 齊

戦後、自由主義という言葉は、再び時代の脚光を浴びて、山間僻村の人達に迄口にされる様になった。

老若男女、環境の如何を問はず、誰にとつても、この言葉ほど魅力ある言葉はない様である。

人間は束縛を嫌い、自由解放を欲する。これは、人間の五感が、そうさせるのであつて赤ん坊のあの傍若無人の産声が端的に之を物語つてゐる。

板垣死すとも自由は死なずの言葉と共に想起される明治年間の、幕政解放による自由主義を思想自由主義と名付けるならば、今日、人口に膾炙する自由主義は我々現代人の五感を最も刺激し満足させる意味に於て特徴付けられ、本能の二字を冠することによつて、極めて適切な感じがする。

ここに言う本能自由主義は、漸く批判期を迎かへているものの様であるが、敗戦によつて怒濤の如く輸入されたアメリカ文明の中でその功罪は暫らく措くとし

ても、長く全体の為束縛され、統制され、慣らされていた人間本来の生活感情を呼び起し解放して、国民に生氣を与へる役立ちをしたことは、まぎれなき顕著な事実である。

明日への幸福を願う人間の本能は、いつまでも萎んではいない。

動物的一面として人間の有する睡眠慾、食欲、性慾の各欲求は、意識的無意識的抑圧によつて表面影を潜めたる如くに見えても、その奥底に力強く発動の機を願つてゐるのであつて、人間を動物から截然と区別する唯一の思想的欲求は、遺憾ながらこの動物的欲求に後続せざるを得ない運命にある。

戦時中極度の不安と経済的枯渇のため、国民は最も強烈であるべき動物的欲求すら忘却し、ただ生への執着のみの生活に追い込まれていたのである。終戦により凡ゆる本能的欲求の満足を獲得せんとする意欲は、期せずして、華やかなる本能的自由主義の登場を促進した。

かくして欲求は調達を願ひ、各種肉体的文學を生み、所謂、戦前に於ける公序良俗の観念は、百八十度その内容の転換を余儀なくされ、そのものズバリの広告宣伝は街に溢れ、ジャーナリズムも、この風潮に乗つて経営成績の飛躍の充實を目途した。

奔流は自然の衰退を待たねば止めることは出来ない。小説、映画、キャバレー、ストリップ、総て本能の琴線をくすぐる題材は、勞せずして大衆の渴を癒し、絶讃を博した。文明は時間の経過と共に複雑となり、文化して行くのに、性本能は逆行し、複雑な表現を、いとい、単純原始的になることを欲するのかも知れない。

近代文明を誇るアメリカ式高層建築は踵をついて続々と建設され都市を變貌して行く。

立ちならぶ映画演劇の各ビルには、いとも感性的絵画を掲出して観客を呼び、ストリップは劇場と言はずキャバレーと言はず果ては喫茶店に迄進出し、七彩のライトに肉体的魅力を余すところなく発散し、性的興奮の代償として、経営の妙を發揮する。正に、性としての経済社会の到来を思はせる。

かかる本能自由主義も既に批判の時期に入り罪深き面は反省されていると言う





姫路支部

だより

姫路支部が結成されたのは昭和廿三年一月十八日であり、その後会合を重ねること十一回、同窓生の数も逐年増加し在学生約一二〇名、卒業生約一二〇名、合計約二四〇名の多数に達している。「数は力なり」といふこと必々と感じている。支部の行事と云つても別にとりたてていふこともやつていない。只年に一度八月第三日曜に親睦の支部総会をやつたり、姫路に於ける出張試験のお手伝いをしたり、時々有志が集つていろいろの情報を互に交換しているに過ぎない。それでも本年の八月の総会は藤原、石川両教授を迎へ出席者四十有余名といふ戦後最大のものではあった。経大にとつての特長である、若い人」が多いことは姫路でも例外たりえない。この調子で経大も発展して行くであろうし、支部も隆盛を極めてゆくことであろう。

次に、私は瀬江に私の気持ちを云はば断片的偶感を、はつきりと意志表示したいと思ふ。通り一遍の意見なり、希望的観測は業にもならない。否、現実を歪曲するものと云つても過言ではない。現実を生きた「場」として発言すれば、現実が即して正視し、事体を把握しなければならぬと思ふ。

一、総会の月日決定依頼の件
大体ここ一、二年が十一月第三日曜であるので、来年から原則として何月何日と早くから決定してもらいたいと存じます。

二、学術講演会開催の件

大学の本源的使命は学問の殿堂である。そこに於て教鞭をとる教職員が自分の研究成果を発表するのは当然のことであり、関西の諸大学に於ても実施されている。これを計画的に実行されるやう当局の断行を切望します。

三、卒業生を理事に加入の件

他の私学に於ても当然卒業生が理事に肩を並べている。まして民主的運営をモットーとしている経大に卒業生の理事がいけないのは奇異の感さへ抱かしむ。広く意見を求め当局、教授、同窓

会の三位一体の円滑なる運営によつてこそ、経大は益々発展することを確信し、関係者の速やかなる処置研究を望んで止みません。

四、雑感

同窓生は永遠のつながりであると共に、経大に同窓生の教授が一名もいないことは又淋しいことである。母校が毎年発展して行くことは望ましく、お互に御同慶に堪えないところである。

然し乍ら新制大学が雨後の筍の如く出来今や地方の新制大学の在り方について色々と反省し研究すべき問題が多いやうである。母校は大阪を中心とした単科大学であり、志望者の給源の「場」は関西地方が主である。ところが創立以来二十余年を経過しているのに、依然として地元の高校出身者が少いことは一考を要する問題である。もつと具体的その依つて来たところを分析し、適当な方法を速やかに講ずるべきであり「マンネリズム」に陥つてい

るのではないかと愚考せられる。以上私は思ひつくままに私の意見を述べたが、平素の私の考え方の一断面であります。諸賢の叱正御批判を下されば幸甚に存じます。

(同窓会姫路支部長 永川仁二)

自動車部会便り

二十世紀に於る近代産業の先端を行く自動車、人間の手となり足となつて働く自動車、五トン、六トンの荷物を積んで山路を行くトラック、赤信号で延々と続く乗用車、会社の連絡用のスクーター或は二輪車等々、自動車は近代に無くてはならないものであり、又その自動車の修理、部品の供給等切なる事の出来ないものであります。之等自動車の関連事業に携つてゐる者が集り共通の話題の下に語り合ひ、相互の親睦とお互の社会活動の向上を図り、併せて母校に寄与する事が出来ればと、同窓会の下部組織として「大阪自動車部会」を、世良(三幸) 吉田(十九幸)が発起人となり、製造(ボディー・シヤシー等)、販売、修理、部品、タクシー、運送、バス等総ゆる自動車関係を含め、第一回部会兼発表会を去る三月二十九日ホテル・ナニワに於て、学校より藤原教授を御招きし発足致しました。出席者十六名で岡田則夫氏(六幸)より、タクシー業界について話題の提案があり有意義に終了致しました。

尚第二回以後は、タイヤ業界、燃料業界も含める事を決議致しましたので奮つて御参加下さい。

(次頁下欄へ)

自動車部会々員名簿

- 3 回世良健次(大阪日産) 渡辺達好(京阪自動車) 4 回小阪弁治郎(阪国バス) 5 回村田夫英雄(東運送) 綿谷三郎(東亜自動車) 6 回岡田則夫(三和タクシー) 8 回杯正吉(日本通運) 10 回加明四郎(大同運輸) 11 回高岡正周(福田自動車) 松園裕(日本通運) 12 回入江悦夫(日本通運) 15 回中野慶一(日本通運) 若月登(自営) 18 回稲永成治(阪東運送) 19 回秋山昌之(大丸タクシー) 尾本尚三(日本急送) 杉本英次(日産販売) 野尻忠正(奈良交通) 広瀬善一郎(大阪日産) 松田利次(大阪自動車販売) 松平晃(新奈良日産) 溝口弘(日本通運) 吉田三郎(大阪日産) 20 回越智通富(富島商運) 川野群平(大阪日産) 小林郁夫(大阪日産) 福本正治(日本急送) 松本賢治(東運送) 和氣淳(帝國車輛) 渡辺俊(東運送) 井上貞夫(大阪日産) 藤沢(近畿いすゞ) 21 回石田幸三(福田自動車) 嶋昇(共同組) 在学入山(大阪日産) 加賀谷隆(二葉興業) 島本(近畿いすゞ)

名簿は同窓会名簿より作成致しました。が間違つてゐる点が御座居ましたら御寛恕願ひます。又、名簿残れの方及び、タイヤ、燃料業界の方は左記宛御連絡賜れば幸甚と存じます。

大阪市福島区下福島一丁目四番地
日産自動車販売株式会社大阪支店
杉本 英 次 宛

「中共引揚船は之が最終となるだろう」

とラヂオの放送が聞えてくる。思えば感無量である。私も牡丹江、掖河、琿春、佳木斯、鶴崗、ハルビン、公主嶺、四平街、新京と歩いた事が次々と思ひ出される。中でも佳木斯は常に忘れられない。

同窓会理事をされた宮前氏(当時主計少尉)に青畳の上で「ぜんざい」を御馳走になつた時の事が、先輩は持つべきものと当時の欣びが湧いてくるようだ。経理部の甲幹になつたばかりの私が先輩と列んで馬魂碑の前で撮つた写真がいまなお机上のアルバムに見られる。

(三)これまでも柔道の大山や剣道の高野はどうなつたのか、満洲で別れてからは十二年いまだに便りが無い。復員後、岡山西江原にある大山の家にも訪ねたが、お父様妹様が居られて未だ抑留中と聞いた。同窓の諸兄が皆各地で私のように回顧していると思うと、この十余年あまりにも時の流れは急であつたと考えさせられる。

(二)こでまづ私から卒業後進んできた道を述べて御無沙汰のお詫びを申し上げたいと存じます。学校から三菱銀行へ、田辺出身の平岩と二人就職したスタートは正に順調でしたが、二ヶ月目に入賞渡満、前記の通り東南満を転々、経理部見習士官で金沢に帰還、同地で復員、三菱神戸



回顧十年

申 岡 茂

支店に継続勤務はしたものの疎開中の母姉にひかされて、宮城県に來ました。この母の郷里に來てから畑違いの農業団体に関係し、水産に入り、在学中、協同組合論を教つた事すら忘れていたのに、最も封建色の強い東北の協同組合生活の十年が始まつたのです。即ち日本三大漁場の一、金華山、捕鯨基地で有名な鮎川文芸春秋で坂口安吾に絶讃の長文(東北に京阪神の文化を見出した云々)を以て全

現職の宮城県立水産高校教諭となりましたが、教壇で水産経済、簿記、英語などの授業の時思い出すのは母校の教授の面影です。大北先生始め奥村、菊田、浅沼久野の諸先生から受けた教室風景がそのまま再現されているような錯覚にとらわれる。しゃべりながらも瑞光原頭が思い出される。風間教授引率で大学高専の武装強行軍に参加糧原神宮へ行つた時の事、等々次から次と学生時代が脳裏に浮ぶ。このように母校を想ひ、同窓諸兄を思い又先生を偲ぶことは誰しも同じでしょうが、遠隔地の私、離れましてはまだ神戸に持家もあります。何卒よろしく願ひます。

(私)、現在地の宮城県渡波町は北上川の流出土砂で出来上つた土地といわれ、霊峰大六天山を仰ぎ、万石浦を擁し、輸出種牡蠣の生産と海苔養殖が盛んであり、又旧藩伊達正宗公時代からの製塩業が行はれています。学校内にも冷凍機械あり缶詰工場あり、海苔牡蠣養殖場、養殖場県水産科学博物館などの諸施設が完備しており、古い歴史にふさわしい内容です。浜は白砂青松で、須磨や浜寺と同じく風光明媚な地です。松島や仙台に御來遊の時には是非御立寄り願ひます。

乱文ながら私の思い出と近況をお知らせしました。母校の発展と同窓諸兄の御健斗を切にお祈りしてやみません。

(母校十回卒業生)

國民反省の歌

澁谷 藹

茲に、神と云ふは、キリスト教や西洋哲学者の、神と立てている様な偏狭な神ではなく、もつと根本的且具體的現實的であつて、若し仏教中の神を深く体究練磨して、然かも、従来のそれを脱却し更に深且広大なる宇宙即ち絶対者を徹見し、之に帰入して、真に大乘の肉身の菩薩として現代の渦中に衆生済度の大願を實踐している人があるとしても、それでも、実の所ほんの小分を窺知せるに過ぎぬと云う様な仏、即ち、絶対者を意味する。

一、平和の波の岸に寄る、
大和島根に国を建て、
伝へ來りし同胞よ。

*註一
二、世界歴史は大神の、
説きにし人の言の葉の、
直き審判といみじくも、
深き理今ぞ知る。

三、御親の神は天地に、
独兒の如愛しむ、
恵を充てて諸人を、
相助けよと育みぬ。

*註一
四、人は御親の我めし、
自由の酒に酔痴つ
神と名告りて転び伏す。

五、華を翳せし希臘人、
矛を列ねし羅馬国、
何に因りてか倒れつる、
昨日は他国今日是我。

六、文化の芳りいや高く、
文明の珠輝くも、
朝の露と消え果てん。

七、自由は我にのみ在りて、
他に在らじと思ふ時、
世は魔の海と荒れ狂ひ、
阿修羅の炎血に叫ぶ。

*註三
八、古今東西その例、
勝ちては驕る強国と、
敗れて頽ちる惰民とは、
共に滅ぶと定めり。

九、顧みすれば久しくも、
唯外形の模倣に酔ひ、
神と魂とを忘れつる、
祖国の様ぞ悼ましき。

十、国の建替 今の時、
深き正しき礎は、
御親の神に立ち帰り、
悔ひ改むる道と知れ。

俗謡 一つ

今は眞夜中 星空なれど

やがて夜が明け 日本晴

*註一、Hegelの歴史哲学にある有名な根本思想。曰く「世界歴史は世界(即ち神)の審判なり」と。
(Die Weltgeschichte ist das Weltgericht)

*註二、Schellingの著、人間の自由(Menschliche Freiheit)にある思想。曰く「人間は神に於て、即ち神の中において、神の命(御意)に順ひつて敬虔にふるまふ限り、自由たる事を得れども、若し一度、自らに神性(即ち神の子なるが故に、神の性を分有すると云つた風な考、之と同様な思想は仏教にもあり、即ち一切衆生悉有仏性——涅槃經にある思想——なる故人間たる我に仏性ある事当然なり、故に我は仏なり菩薩なり、などと思ひ昂り、勝手次第に振舞へば仏どころか、正しく魔界に墮在して魔と成るなり」ある故に、

我は小さき神なり、と思ひ昂り神より人間が独立して自らの欲するままに(即ち神命に順はず)行動せば、即座に罪惡(Böse)が発生し、彼を魔として不自由と成るとの思想なり。
之は本文の終りの部分過半を念読して分る思想であり、聖オーガスチンの罪惡觀や、又、失樂園(Paradise Lost)の思想とも相通じるものである。委しくは同書を見るべし。邦訳もある。

*註三、阿修羅は仏教が印度古来の伝説を継承している中の假想的(彼等には實在的)存在にして、惡魔であり、天の神と戦ふ(従つて、仏にも敵と成る事あり、又服従して守護を誓ふ事もある)邪神的存在なり、故に大有力者なり。
此等の魔軍をも阿修羅と呼称する。

(国旗従て、国権を示唆せる勿論なり)
(作者は母校元教授)

學園便り

現在教職員数は一〇二名、学生数は昼夜併せて二二〇〇名。小さいながらも五、六年前に比べて世帯が大きくなり、また、今年度の営繕方面では、グラウンドの周囲に金網の柵が出来、硬式野球コート一面とバレーコート一面が大隅小学校寄りの狭窄射撃場あとに出来たことが、まづ特筆すべきことであろう。御存知の通りグラウンドは周辺の人の通路になっている上に、時には自動車やオートバイの練習場にもされるので、学生の運動が妨げられる上に、グラウンドの土は著しく痩せるので、一には危険を防止し、一にはグラウンドの保護のために、かねて柵

学生自治会より

同窓会誌の発行に際して、本学自治会を代表し、一言御挨拶と日頃の御指導御協力に対し、謝意を述べさせて頂きたいと思ひます。

本年度は、講堂の暗幕並びに積極的な学生との話し合いの機会を作つて頂き、私達在学生として非常に力強く、嬉しく思つて居ります。此うした同窓会諸兄姉の

の築造が要望されていましたが、ようやく出来上りました。これには同窓会の声援もあづかつて力があつた事を感謝します。

また第一学部の自治会が幾分の援助をしてくれたことは嬉しいことでした。

次に狭窄射撃場は四百余坪もありながら従来利用されておらず、一方学内には庭球コートは一面しか無く、バレーコートは皆無の状況なので、これを補うためにこの空地を利用しました。硬式野球専用コート一面、バレーコート一面を新しく造りその周囲を金網でかこみ、中央と北端に水道を設けて、一は撒水用他を雑用に当てています。同窓諸君の御利用を待つています。その他には食堂の排水工事や研究所、会議室、教員控室などについて十幾つかの補修工事が出来まし

一方ならぬ御努力を無駄にしない為、私達は日々の行動に確信と誇りをもつて進みたいと思ひます。

御承知のように、本学も今や一、二部合せて二千二百余名の在学生を有し、関西唯一の経済単科大学として、量的にも質的にもその充実発展に努力致して居ります。然しながら資本主義の矛盾は慢性的不況を巻き起し、学生数の増大に伴う設備の問題等も、とかく資金難と云う枠に突当つております。更に又、慢性的

た。

機械器具の購入については、今年初めて体育科担当の専任を迎えましたので、今まで不十分であつた体力測定器や体育用具が相当数購入整備されたことは当然で、その他教室用の補助椅子一五〇脚、大教室用拡声装置三組が備えられ学生の勉学に多少便宜になつたかと思われま

す。図書館にカードボックスが増え、雑誌展示棚が備えられました。その他キヤノン一台が購入されてスライド製作やその他にも利用されています。英文タイプ二台を買つて計二十台となり、熱心な部員が昼夜間断なく叩いています。相当遅々なタイピストも沢山いますから、職場が必要がありましたら御連絡下さい。

体育祭に初めて理事長杯と学長杯とが

失業者の溢れる現在、私達の就職問題は前代未聞のものとなつて参りました。此う云つた事は、戦前に学ばれた諸兄姉にとつて想像以上の事であると思ひます。

我々本来の使命である所の、真の経済学を学び、明日の社会をつくりあげる人間にならうとする事と、今就職しなければ生きる事が出来ないと言ふ矛盾が、私達の学生生活を絶えず不安なものにし、ニヒリズムを生み出そうとしております

出され、華々しい争奪戦が展開されました。体育祭に映画上映のため、講堂に暗幕を設備してほしいと学生から申出ましたが、今年の予算ではどうにもならなかつたものですから、学生は貧乏な親父を諦めて同窓会にせがみました。物わりの良い兄貴の首が縦に動いて同窓会の節御覧になつたような、美しいカーテン兼用の暗幕が常備されたわけですから。学生と共に厚く御礼を申し上げます。

同窓会も学生も一体となつて大学の育成に努力する姿は、ちよつと他の大学では見られぬ所かと思ひます。毎年の同窓会に同窓生の二割近い数が参集するといふ珍らしい事実が、同窓生の母校に対する関心のバロメータだと深甚の敬意を表する次第です。

(学園事務局長 高室一彦)

然しながら此処において、私達は唯暗黒の中や、ニヒリズムの中に逃避するだけでは、決して救われ得ないと思つて居ます。と同時に此の現状をしつかりと見つめて、此の中から立ち起る事を、経大の発展と私達の発展が約束されるものと確信致します。

そこで日々少ない予算にも拘わらず、烈しいスポーツの練習の中に、又学習活動や歌声の中に、共にする楽しさを味わいながら、生き生きとしたサークル活動

(次頁下欄へ)

ラグビー部

当部は、今春より専任コーチ制を採用選手の技術向上を計つた結果、全国大会予選では決勝で近畿大に敗れたとは云へ、一段の躍進を見せている。本年の対戦成績は八勝五負で残り三試合であり、来年度は関西の名門同志社大、関学大、京都大等と対戦がありその結果を今から期待しています。又関東の名門校との定期戦が組まれる日も間近く先輩各位の御

期待される

運動

各部

各部

各部

マツチを捨て唯リーグ目標に進んだ結果で必ずや二部昇格は実現するであろう。

サッカー部

霜露二十余年、経大最古の伝統を誇る当部は、昨年は関西球界の恒星として一秋を風靡し、毎試合に快勝し、準優勝まで進むの優勢を示し本年の大阪リーグには関大に惜敗したとは雖ど、東京の雄中央大には四対二とその面目を保つた。来春、二名の卒業生を送り、部員の大

大と戦い、近大を除き実力の差はない様ですが、投手陣の不調から三勝七敗で終りましたが、躍進途上にあることは約束できます。御声援を御願致します。

軟式野球部

昨年全国制覇を成し、一躍その名を上げた当部も本年は残念乍ら、春秋共二位に終つたとは云へ、西日本大会等各種大会に大車輪の活躍を見せ、昨年に優るとも劣らぬ程の実力を発揮し、本学の名を広く全国に知らしめている。

来春、八名の現役選手を送り出すが、先輩諸氏の御指導を得て必ずや今年の不覚を挽回する様、選手一同練習に励んで居りますので、御支援に報いる事を確信致します。

卓球部

昨年、春秋共、リーグ一位二位の成績を収めた当部は、今春選手の疲労から二部に転落、その後先輩の指導と選手の技術向上から二部に五戦全勝、入替戦には竜谷大をチーム、ワークで退け一部を奪回致しました。今後関西一部上位進出と関西の雄関大打倒を目標に、技術の練磨研究、選手の実力によつて先輩各位の御期待に沿うべく頑張る、一部上位に進出も近き将来可能であります。

籠球部

今春、西日本大会に山口大、南山大を一蹴したが関大に敗れ、その敗戦を契機に秋のリーグを目標として、コンディショニングの調整とチームワークの育成を目的に新潟に合宿を試み、その結果はスピーディーな試合運びとなつて表れ三部リーグに十試合全勝の優勝を遂げ、永年の宿願二部昇格に一歩近づいた。一年間一切の

硬式野球部

当部多年の宿願であつた一部昇格が、本年春季リーグに達成された。即ち、二部リーグ八勝二敗で優勝、入替戦に、大阪学芸大をストレートで下し、秋季リーグには、晴れの甲子園の舞台で、近畿大、神戸商大、大阪市大、和歌山大、大阪工

を続けて参りました。そう云つた日頃の練習が、例えば運動総部についてみても

サツカー、ボクシング、軟式野球、軟式庭球、或は卓球等々、皆どれをみても、関西に於ける否全国に於ける大阪経済大学として、その実力は期待されてお

本年度は更に発展させ、応援団結成の動きも具体化され、大いに期待されて居ります。尚此等の詳細に付いては、別稿「各部活動状況」に各総部より報告されますのでそれを見て戴きたいと思ひます。私達自治委員会としても此れを更に発展させ、本学創立以来幾多の先輩諸兄姉によつて脈々として受継がれた黒正イズム！その創造への驚くべき情熱を真に私達のものとして頑張つてゆく覚悟です。

今日の大阪経済大学を更に発展させるは此の黒正イズムに繋がる同窓生と在学生の密接な連繋であると思ひます。

又就職の問題にしても、あらゆる産業部門で活躍されておる先輩諸兄姉の事を耳にするにつけ、心強く感じると共に、私達後輩の為に言葉に盡せない御努力をされておられる事に對し、それを無駄にしない為、何よりも実力養成の為日々精進致したいと思ひます。

(学生自治会委員長 堂本蒼富)

送球部

当部は「練習で泣いて、試合で笑へ」をモットーに練習した結果、春季トーナメントにシード校大南大を大差で取り三位、春季リーグには何れも一方的に大勝利、二部優勝、一部昇格を目前に見ながら、二部一位に留まったが秋季リーグに一部昇大きく期待をかけている。今年中には、必ず格を現さるべく、毎日選手一同練習に励んで居りますから御期待下さい。

排球部

本年も昨年と大差ない成績で終り、朝日バレー大会には一回戦で勝ち、日延の為棄権、近畿インターカレッジで神外大に敗れ、春季リーグには第三位、秋季リーグには二部昇格を目指し、善戦の甲斐なく第三位に甘んじましたが、来春二部昇格を目標に技術の向上強化を計るつもりであります。

柔道部

昭和商の伝統を受く当部は、現在在段者十四名を擁してはいるが、対戦成績

は余り奮はず、今後交流試合を通じ充分実力を発揮出来る様、努力し技の向上に努め、精力善用、自他共栄の道を期し、正しく強く、発展していく様、我々部員一同励んで居ります。

軟式庭球部

今春来、関西学生B級大会で第三位を獲得、又三校リーグでは、滋賀大、和歌山大を一蹴、西日本には準々決勝で惜退阪神七大学リーグには全勝し優勝の栄を得ました。東淀川区民大会には一、二、三位を獲得等々、好調な歩みを続けて居り、関大打倒を目指し、全員張切つて躍進を続けて居ります。

硬式庭球部

今春コートの新設を見、従来コートを持たぬテニス部の悩みを解決、今後三年計画を以て部の充実を計つて居ります今年の成績は、他大学との交流試合に三勝一敗の好成績を得、近畿総合体育大会に初参加、準々決勝勝ち進みました。来年度より東京経大との定期戦を計画して居ります。

陸上競技部

当部は、本年大阪学生大会に関大、近大に次いで総合三位、関西学生大会では二部三位で、対大阪外大には一方的に四連勝を遂げ、対東京経大との定期戦には惜しくも三連勝を逃し、二勝一敗となりました。来年度予定される東京、名古屋遠征を加へた公式定期戦に万全を期すべく準備を進めています。

バドミントン部

当部は、結成三年目ではありますが、昨年度一部に昇格、今春リーグには惜敗致しましたが入替戦には京大を一蹴し一部の地位を保持、各大学とのオープン戦を通じ、一層の技術向上に努め、今秋リーグには春の惜退を挽回すべく、一同フアイトを持つて戦うつもりであります。

空手道部

当部は、未だ歴史が浅く今秋修交会に合宿を行い、その後対和対大戦、対同大戦にて大いに善戦、全日学生空手連の東京遠征等各試合に於て、好成績を収め得た従来の空手道の封建制を打破し、下から

今後盛り上げる力を利用し、実力と闘志を養い、真の紳士的人間の養成を目標として進む方針であります。

ボクシング部

当部は、再発足以来三年、今や学生ボクシング界最高峰の、関西六大学リーグに参加し、今春リーグには、第五位に甘んじたが、此は、重量級に欠員があり、毎試合二、三名の棄権を出している為であります。日夜練習に励み、部員の充実に務めていますので、これも早晩解決される事となります。リーグ進出、個人戦に於けるチャンピオンも、必ずしも夢ではなく、来年度、関東地区との定期戦と共に、期待していただきたいものです。

山岳同好会

当部は、雪中期に於ける雪洞研究を中心に、関西に広くその名を知られて居ります。他のスポーツに較べ、その特殊性に留意して、山岳等を開催し、一般の関心を高めると共に、夏山から冬山へ重点を移し、装備の充実、地理の徹底化に着眼し、三十一年度の銀岳攻撃に、御期待を希う次第であります。

学術総部

秋——それは熱と光との乱舞する大気の中にあつて、生の進展に余念のなかつた宇宙の森羅万象が、活動の手を静かにゆるめて、その進展の跡を回想し内省しはじめる頃であり、人々は燈下で、或は晴夜に瞬く星の下で、静かに人生の真姿を求めて冥想に耽るには最もふさわしい



学

術

各

部

躍進を続ける

頃であります。この時にあたり同窓会機関誌「澱江」に学術部活動の投稿をみるに至つたことは誠に喜ばしい事であります。

扱、自治団体として学術総部が発足して以来数年間一幾多の苦痛と困難を克服して、学術部は不完全ながらも凡ゆる面に於て発展し充実してきました。

今日、私達学生はいつも現実と理想とがあまりにもかけ離れた現代社会の矛盾

に悩みつつも、強固なる忍耐力と冷静なる思索とによつて、この矛盾を一日も早く打開すべく全学生が一致団結して堅実なる歩みを続けて居ります。

私達が学部学問は決して立身出世と就職手段を目指したものではありません、あくまでも生きた真理への探究であり、これをきわめることこそ学術部に、そして全学生に課せられた使命であると信じます。

法律研究部

「法の目標は平和であり、これに達する手段は斗争である」イエーリングの言葉は現在に於ても強い意味を持つています。即自由は一部では過剰であり、他方では極端に欠乏している。このバランスをとるのが法律学の課題であり、その課題と取組んで地下の部屋に集り、相互に知識を交換し、口角泡を飛ばす激論に花を咲かせて昼夜努力し、先輩の御期待に副う様努力して居ります。

社会研究部

当部は、立派な歴史とすばらしい役割をはたし乍ら、過去に、政治的「左翼」

珠算部

躍進を期する当部が、生れてから三年本年は、学内珠算大会を行う等、全員一丸となつて技術の向上を目指して、懸命の努力練習を積んでいます。経理事務に、必要なのはソロバンであり、ソロバンを通じて学内の向上を計りたいと思います。関西学生珠算連盟の結成により、一層の技術を磨きたいと思ひます。

美術研究部

当部は、学問のかたはら美の研究、則ち

語学研究部

生きた英語の研究

E・S・Sは現在部員数五十名を擁し、

美の発見と創造に傾注し、生活文化の向上に努力しています。結成後三年、活動は、作品展の他は表面的でなく、現在、関西学生美術連盟に加盟し、又デッサン講習会に参加する等、一方学内的には、諸行事のポスター、プログラムを担当し又商業美術、広告デザイン等、視野を拡げて居ります。厳しい創造の世界ですので、今後一層の御理解、御批判、御後援いただければ、幸いと思ふ次第です。

タイプ部

本学の一大特色、現在部員九十名、タイプ二十台の大世帯へと発展し、部員一同技術向上、練習に励んで居ります。学内競技大会、大阪女子大と、対抗競技大会を持つ等、今後の活動が期待される次第です。又、本年第一回全国商工会議所主催の、英文タイプ検定試験には、四名のC級合格者を数える等、目覚ましい活躍は、規則正しい、厳しい訓練から修得した技術の、賜であると確信し、今後益々技術向上に励む覚悟であります。

文芸部

くだらない小説を書きよるこべる
男情れなり初秋の風 啄木
当部は、この様な気持を持つて創作に努力しています。何しろ地味な存在でありますので、現在薄べらな雑誌を出版しています。又石川達三論、川端康成論を中心に、大阪女子学園短大、大阪成蹊女子短大とも、定期的に合評会をもち、学内的には新聞にその断面を発表し、コント、詩、等を創作研究すると共に、学内放送部を利用して、毎月曜に短編小説を朗読する等、今後の作品発表や、その活動に、後援者諸兄姉の、御希望にそくしていきたいと思います。

弁論部

「話す」といふ事は、実に難かしいものだ、日常生活に於て、話術といふものが如何に、重要なものであるかが故に「よく見、よく読み、そして考へる」から出発し、その内容は充実し、洗練されたものでなくてはならない。話術は、「自己の信念の表現であり、判り易く聴き易く」なければならぬ、そこに、弁論の困難さがあり、面白さがある。情熱は口

を開けば、常に人を説得する弁舌家である。即ち、眞の雄弁は、言うべき事を残さず、言ふべき事しか言はない所にあり、又「声の調子、眼つき、風采の中にも、言葉より以上の雄弁がある」といふ格言の下に、当部は日々練習を行つて居ります。先輩諸氏の、御指導御鞭撻を頂ければ幸甚だと思ひます。

経営経済研究部

当部は、先輩後輩が一同となつて、眞理研究に努力致していますが、現在、吾が経済大学の学生には迫力がないと先輩から批難されることもあります。或は、これも現在社会情勢の反映でもあるのではないのでしょうか？免もあれ、先輩各位が築いて呉れた、自由にして融和の精神と云ふ良き校風に感謝して居ります。尚一日も早く学生寮の出来る様、御願ひしたいものです。

お詫び

運動各部及び学術各部から多数の原稿を寄せられましたが紙面の都合上各々要約致しましたので御了承下さい。
(編集部)



澁谷 藹

一、春風に 翼を張りて
しづしづと 舞ひ舞ふ鶯の
下に大刀山

二、落葉をよぐ 夜の時雨の
かそけきに 忍べる秋の
足音を聞く

三、雨に洗ひ 雪に磨きて
剣山 天簫り立ち
朝日輝ふ

四、原子爆弾 抛げたる猿が
自業自得で 我が手焼く

(元母校教授)

応援団の結成に当つて

本学も、創立以来二十三年を数え、二年後には、二十五週年を迎えることとなります。その日には、苦難の二十五年の成果を祝い、先輩諸氏が示された、経大黒正イズムを守り、育てる、私達学生の姿を見て戴きたいと思つて居ります。

さて、私達学生が自由と自治を掲げ、融和を求め、学園を発展させるべく、志同する態度は、先輩諸氏の頃と何等変るものではありません。運動部にあつては、昨年度、軟式野球部の全国制覇、サッカー部の関西リーグ第二位、又卓球、硬式野球、バトミントンの各部が、既に、最上クラス、のリーグ戦(一部)に進出し、黒正イズムの拳斗部、その他各部も夫々、独自性を發揮して活躍しています。

『応援歌』学生歌』歌詩募集

応募資格	作品形式	作品内容
在学生、教職員又は卒業生	随意	明るく健康的なものである事、経大黒正イズムを象徴したものである事

昭和三十一年一月三十一日
秋本吉郎教授、他審査委員会
大阪経済大学応援団準備委員会、又は新聞編集室

(注) 入選作は補訂することが有ります。
応募原稿には住所、氏名、(卒業期)を必ず明記の事

此の様な運動部の活動が、より以上の成果を斯すべく、学生の援助が必要であり、又、これに対し、全学生も積極的に対抗試合等には、応援者の増加となつて現われて来て居ります。然し、それはどうもにしたいという、全学生の要求の上に立つて、私達学生が準備会を設け、応援団の結成を推進することに成りました。然し斯様な応援団の結成は困難であり、より以上の苦難を予想して居ります。

当面の問題として、既存の「学歌」「道遙歌」を徹底させ、新たに「応援歌」を作成し普及させる事と、そしてプラスパンドを結成する事が、急務だと考へて居ります。

この様な、我々の意向と、全学生の要求を認識して、載き、先輩諸氏の積極的な援助を望む次第であります。

(応援団準備委員会)

1 寸 景

ハしなはなうよめゆ

見給え、ノイローゼの男が書いた文章なんだ、と助手がデーターファイルから大事そうに取り出した一文を、集ったクラング達はホホと感心して見ている。患者と言つてもノイローゼの患者でない。H大第一外科病棟での話である。何の事はない、逆さに読めば、

「夢のような話」
こんな悪どいいたづらをする連中こそ、ノイローゼと云えそうだ。

ノイローゼは、精神病ではないのだから、真裸で踊り狂う金スト風でん患者のような、奇矯の振舞は見る事が出来ない。見た所常人と余り変りはない。乃ち近代人は多かれ少なかれ神経症患者と言われる所以がここにある。

II ノイローゼA号

先ず十五六才にして男性たるものがこのノイローゼ症状に取りつかれる。これが人生に於けるノイローゼの初期感染である。



ありノイローゼA号である。生れたままの、まだ男湯と女湯の区別もつかぬ、中性子時代が過ぎると所謂思春の世代に突入する。乃ち、自分がどこから来たのかを探り始める事から、人生は何か？と言つ「生」性の苦悶、更には「異性」を得たいと云う烈しい焦燥と欲望から段々考へるようになり、一応ここですべて軽い神経症におちいり、頭に血が昇つてここに男の知性が生れる。異性を征服せんが為に、辞書を片手にアソドレ・モロウをひもとくとき頭に血が昇る一あれである。乃ち情に固まる女性性格の成立と、知と意志に溢れる男性人格との劇然とした相異の芽生えは、実にこの軽い神経症時代の力が預つて大なるものがある。尚に神の攝理は旨くしたものであると云わねばならぬ。

III 青い麦

男だけが早期ノイローゼ症状に陥入るとすれば少々割の合わない話になる。そこで神はその公平を期する為、可愛らしい女の子にも一種の精神錯乱症を賦課し給うたのである。

乃ち女の子が「青い麦」から次第に熟れ始める頃、つまりその小さな声で言え「初潮」のあらわれ始める頃から、急



に頭がにぶつて計画性、科学性、緻密性などに耐えられないようになる。頭はにぶる。代り生殖代謝は一段と盛になり、ぬめのような柔肌、張り切つたウイナスの丘、くびれたウエスト、ほどよく脂肪の乗つた、ビツプ等に。実に易々と所謂「赤い実」に愛身して行くのであるが、只、月に一度恐るべき事に一種の精神錯乱に陥り自己を強く主張する事に成るようになる。そこでノイローゼとは、自己を主張する事にのみ懸命な人種——自意識過剰の近代人が、感染する神経症と云う事が出来る。正にこれは感染するのである。

IV 正・反・合

そう云えば近頃は男も女も自己を前面に押し出し過ぎてはいまいか。由起しげ子の小説だつたと

覚えていたが、大学教授とその細君とがお互に自分の主張を譲らず、危くおどりの夫婦喧嘩に及ぼうとした時、二人はほえみ合つて「よし、あれで定めよう」「あれ？いいわ。定つた以上は恨みこなし」二人は声高に「じゃんけん、ぼん」と手を差出す。老妻はひそかに心の中で微笑むのだ。何時の頃からか夫が定つて最初缺を出す自然の癖に氣附いていた。それも拇指と人差指を無器用に一杯開け

た缺——「やッ、又負けた。何だ、どうも仕方がない」そう呟き乍ら半白を頂いた教授の夫は、妻の主張に誰々折れるのである。だがこの話には後日譚がある。小説の話ではない。私が恋人だつた彼女に御堂筋を折返し折返し歩き乍ら話して聞かせたものだ。

又或時の事なのだ。息子の縁談で夫婦の意見が対立する。息子にひそかに愛する娘のあるのを知っている教授は、仲人におだてられた形の、妻の意見に反対である。見合に行かぬで二人の意見が対立する。じゃんけんをする。夫の出したの缺ではなく手を一杯に開いている。何の苦もなく夫は勝ち、二人は思はずはほえみ合う。「貴方つてずる方」

男の知性と女の母性——いや、男と女と云う二つの異質のものが口論し乍ら妥協し、調和し乍ら喧嘩していく処に、家庭なり社会なりの発展があるとすれば、対立斗争、調和、発展の段階を繰り返して作らざる非証法的理論をここに見る事も又可能である。雨降つて地固り、自己主張による対立も斗争も適度であれば、ノイローゼも又欠く事の出来ぬ近代病なのかも知れない。(三〇、二二、二二〇記)



第二十一回卒業生名簿 (昭和三十年卒業)

氏名	勤務先	住所
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井関 功	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
磯部 良一	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 和広	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
伊藤 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
稲田 俊晴	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 重夫	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 信孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 孝	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
井上 敏幸	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 繁明	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
青木 幹一郎	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
赤尾 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
秋山 博	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池上 恒治	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
池田 稔	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 格二	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石川 盈章	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石橋 孝也	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三
石原 武	大阪府阿倍野区阿部野筋八ノ七三	大阪府阿

江草 護 大上 雄二 大浩 熊 大河内 博 大島 正俊 大田 利正 大田 宗之 大塚 尚 大野 博 大橋 章一 大堀 洋 大本 洋介 岡 萬次郎 岡 幸男 岡 和久 岡 田 亘義 岡 田 登 岡 野 富樹 岡 村 日出夫 岡 本 末広 岡 本 迪郎 奥山 正美 尾崎 寿

呉被服工業有限公司(広島県品郡芦田町大字下地)
池田銀行上新庄支店
(大阪府東淀川区瑞光通一ノ二)
大田金物K(山口県防府市恵美須町一、二五九)
K赤玉本舗
(大阪府東区平野町四ノ五八)
K共同組
(大阪府福島区西梅田町一七)
丸増K K営業部
泉ヶ丘町立西陶器小学校
(大阪府泉北郡泉ヶ丘町田園)
K K上島本店(珈琲紅茶入商)
輸入係(神戸市生田区三宮町一丁目六)
マルシヨウ袋物店
(京都市中京区四條大橋西詰)
社町立福田中学校
(兵庫東加東郡社町沢部六二二)
高越山事務所
(徳島県麻植郡山川町)

広島県品郡芦田町下有地
(電・有磨一八)
兵庫東有馬郡本庄村四ツ辻七二
九
大阪府東住吉区田辺東ノ町六ノ
一
愛知県海部郡永和田大字大井姥
弥八 一八六
大阪府北区神山町六五
大阪府西成区東田町四五
岡山県上道郡上道町東平島
堺市出島町三丁目二四〇
京都市中京区室町通錦上ル同社
内(電・本局二五五二)
広島県沼津郡藤江村
大阪府泉北郡泉ヶ丘町小坂一五
六ノ二(電・深井二三七用)
奈良県吉野郡白銀村湯川
神戸市東灘区本庄町深江六九七
一
大阪府中河内郡箕野町四一五七
大阪府枚岡市出雲井町二七九
加古川市加古川町本町二三ノ二
徳島県麻植郡山川町久宗
大阪府三島郡福井村大字福井一
〇九ノ二
伊丹市新町五四一
大阪府天王寺区味原町九九、山
下内
岡山県児島郡夢浦町田ノ口一、
五八八

小笹 正義 越智 弘 貝出 吉隆 菓子田 忠也 柏原 義明 加藤 保正 加藤 又市郎 門脇 幸男 亀岡 幸男 賀来 通憲 川上 滋弘 川口 弘 河津 隆之 川島 昭 川島 昇 川端 清治 川端 美敏 神吉 敏 蒲原 正道 菊池 省三 岸本 功 木田 保

大阪相互銀行千林支店
(大阪府旭区森小路七丁目七二)
日本電々公社
(大阪府北区堂島西町)
水三島K K
(大阪府東区北浜四丁目)
K K菓子田商店(大阪府福島区上福島南二ノ五六)
K K三陽商会
(大阪府南区周防町二五)
特許スポンヂスリツパ協会
(大阪府北区菅原町二一)
神東塗料K K東京支店(東京都江東区深川木場三ノ一三)
大同生命保険相互会社京都支社
(京都市下京区四條烏丸通下ル)
河津製糖K K
(大阪府北区堂島上二丁目二四)
自 営(商業)
共 同 組
(大阪府福島区西梅田町七)
レナウン工業K K(東京都目黒区中目黒一ノ七二)
K K川野立志堂(東京都江東区深川清澄町一ノ三)
神戸市立兵庫中学校
(神戸市兵庫区永沢町四)
伊野中学校
(高知県吾川郡伊野町)
阪神瓦斯K K
岸本製材所
(徳島県那賀郡富岡町宝田)

神戸市葺合区宮本通七ノ二四
大阪府大淀区大紅東之町一ノ一
八 仲川邦夫
芦屋市清水町二一
大阪府福島区玉川町二ノ四〇
(電・土佐堀六二〇八)
大阪府北河内郡四宮村上島頭四
三
滋賀県草津市野路
大阪府住吉区帝塚山中二ノ六
神戸市葺合区南本町五丁目一
一七 村上芳
大阪府豊能郡箕面町字松七〇九
同 上
大阪府豊中市服部四三三
三重県宇治山田市升ヶ鼻町
京都市右京区松室荒堀町一七
滋賀県愛知川町愛知川
吹田市田中町五五九〇
東京都世田ヶ谷区成城町四二六
武蔵野内
和歌山県海南市日方一、一九四
同 上
(電・深川六八一五)
兵庫県伊丹市東神吉村神吉
高知市長浜六五八
大阪府阿部野区昭和町中三ノ一
〇
同 上 (電・富岡二五〇)
神戸市兵庫区東山町一丁目一五

北浦 進 北川 幸一 北川 義信 北村 寿浩 木下 隆太郎 木村 修 木本 二郎 客野 文男 金原 克己 久保田 喜八郎 黒才 洋 黒田 重利 黒地 清種 小池 一郎 小岩 孝男 河野 晴也 河野 益子 小崎 滋夫 小崎 博明 兒玉 精児 兒玉 文男 兒玉 司男

K K小笠原商店(非鉄金属)
(大阪府西成区南堀江通一ノ三〇)
阪南海運K K
(堺市栄橋通二ノ三〇)
明治信用金庫九条支店
(伊藤忠商事K K
(東区本町二丁目三六)
神和織維K K
(大阪府維新会館内)
前田事務用品店
(大阪府東区道修町五)
K K横田商店
(大阪府南区南堀江通三九)
新日本飛行機K K追浜工場
(横濱市金沢区野島町一)
西宮市役所
(西宮市六満寺町)
日立造船K K築港工場
志筑中学校
(兵庫東津名郡津名町志筑)
三金商事K K(大阪府東区備後
町五ノ十一)(電・四七〇八四五)
梅本石油K K
(大阪府西成区新堀通一ノ五三)
太陽工業K K(大阪府大正区泉
尾竹ノ町一ノ三六)
旭広告社K K大阪支社
(大阪府北区中之島三ノ三)
興和相互銀行海南支店
(和歌山県海南市船尾二四一)
梅鉢鋼業K K
(大阪府東成区深江四ノ六)
内外染業K K
(和歌山県黒田大町一三三)

大阪府泉南郡東島取村字黒田五
〇二
京都市左京区吉田近衛町二六、
北奥房吉方
大阪府城東区古市北通一ノ四六
一、二六(電・垂水・三八二四)
神戸市垂水区西垂水海岸通り二
二六
大阪府西成区南吉田町九一
大阪府旭区大宮北之町二ノ六〇
伊藤忠商事K K
大阪府豊能郡東御村地蔵三三〇
一
大阪府都島区友部町二二三三
社宅内(電・堀川三九四〇八)
大阪府港区東田中町二ノ八七
豊中市長興寺一八九 牧野乾之
輔方
神奈川県横須賀市上町一ノ三、
佐々木親方
西宮市鳴尾町中津八〇
豊中市桜塚本通二丁目二 日立
造船豊中寮内
兵庫東津名郡一宮町尾崎新村
奈良県北葛城郡二上村字関屋
堀江正己方
尼崎市難波本町八丁目四七四
日和義信方
大阪府大正区三軒家一四ノ一〇
四 小山幸春方
堺市上野芝岡ヶ丘町三丁目二
四五
大阪府東淀川区大隅通リ一ノ一
四一 御崎佐一郎方
和歌山県海南市日方六〇二一
和歌山県那賀郡河内町大字中山
二一六
大阪府東成区東今里町四ノ三四
栢木方
和歌山県那賀郡河内町字遠方三
二

後藤 和正 小橋 申之 小浜 俊雄 小林 信之助 小林 宣彦 小山 雄三郎 児山 芳彦 齋藤 岩夫 榊 喜作 坂口 安雄 坂口 明 辻(坂本) 織男 坂本 寿 向吉 義和 笹井 誠 笹倉 忠義 笹田 実 笹部 民雄 佐藤 圭之助 佐藤 孝司 佐藤 政宏 眞光 勲 佐野 淳

K K吉田精造商店
(大阪府北区堂山三〇)
朝日生命保険相互会社
(大阪府南区長堀橋一丁目三)
(電・四八七六七・五二三四)
阪神瓦斯K K
近畿日野ルノ一K K(大阪府福
島区上福島南二ノ三〇)
齊藤織布有限公司
(兵庫東灘市板波町一一九)
大阪府政局
(大阪府東区京橋三丁目二二)
K K久保商店
(大阪府北区真砂町五)
大郡商事K K
(大阪府北区堂山町一四一)
大阪府港局(大阪府港区三条
通一丁目一)
富国生命保険相互会社
(東京都千代田区九段三ノ六)
陸上自衛隊幹部候補学校
(福岡県久留米市)
家島中学校(兵庫東灘郡家島
町中井谷)
(自営) 農業
神戸市東灘区K K織維課(神戸
市生田区浪花町五九朝日ビル)
ボルネオ・スマトラ商事K K大
阪支店(大阪府東区北久太郎町三
ノ三七マルニ鉄道ビル)
香川県立高松中学校
(香川県仲多度郡高松町高篠)
上野製材所
(大阪府貝塚市木積町)

神戸市葺合区琴緒町三丁目十五
木村武夫方
和歌山県那賀郡山崎村波分二二
八
同 上
奈良県宇智郡五条町新町三三
六
大阪府東淀川区大隅通一ノ二七
大阪府泉北郡泉ヶ丘町一五二四
兵庫東灘市板波町一一九
豊中市桜塚本通二ノ四九
郵政省職員三号宿舍豊中寮
和歌山県那賀郡岩出町宮
三重県伊勢市曾根町一四六
大阪府三島郡味生村津屋九七
三重県名張市安部田三九九五
同上
(電・豊崎七九六)
大阪府旭区新森小路北二丁目一
三三
東京市世田ヶ谷区世田谷三ノ二三
二四 小磯方
布施市三ノ瀬一丁目一〇
兵庫東灘郡家島町真浦
岡山県西大寺市長沼(電・西大
寺・六四四)
神戸市灘区篠原中町四丁目二六
尼崎市北大物町四〇二二
香川県丸亀市原田町
大阪府住吉区粉浜東ノ町一ノ一
〇(電・戎・七五四三)

志原康夫	共栄貿易KK (大阪市南区上汐町二丁目二二)	大阪府南区北桃谷町二八(電) (75)二七一八	武田淳	広瀬月賦KK(東京都千代田区 神田同明町一三) 自営(商業) (山口県小野田市セメント町) 関西電氣製鉄KK (尼崎市南清水一)	同上(電・神田四三五六、八九 九〇) 山口県小野田市セメント町三丁 目
嶋田茂行	今福製作所(大阪市城東區古市 南通二ノ二五) みかど印刷合資会社(大阪市東 区和泉町一丁目一二)	滋賀県大津市膳所南相模町四五 六(電・大津・二八五一)	竹中節雄	関西電氣製鉄KK (尼崎市南清水一)	兵庫県尼崎市南清水一ノ二
清水一三	区和泉町一丁目一二	大阪府南河内郡高鷲町恵我ノ荘 二一四	竹森康	幸福相互銀行堺支店 (堺市大町西四丁目九)	奈良県生駒郡安堵村笠目三五一
清水芳昭	兵庫県伊丹市梅ノ木町三丁目	大阪府河内郡長野市古野町三ノ七 二	多田直彦	共和産業KK (大阪市東区道修町二ノ二〇) 近畿相互銀行 (大阪市北区小松原町) 森織布KK (大阪府泉北郡南池田村平井) 幸福相互銀行堺支店 (堺市大町西四丁目九)	兵庫県印南郡大塩町四三八 大阪府西成区玉出町二ノ四二
下津理彦	家庭薬品卸KK防疫薬劑部 (大阪市東区淡路町三ノ六)	大阪府河内郡長野市古野町三ノ七 二	田中栄一	大阪府北河内郡豊屋川町池田一 七九	大阪府北河内郡豊屋川町池田一 七九
新谷正夫	菅野織物KK (兵庫縣加西郡加西町繁昌) KK栄文堂印刷所(京都市上京 区寺町通今出川北二丁目)	神戶市灘区琵琶町二丁目二五 兵庫縣加西郡加西町繁昌(電・ 中野・一六)	田中英彦	日本電信電話公社天王寺地区電 話局 夕刊フクニチ新聞社大阪総局 (大阪府北区首根崎上四ノ四八 大阪会館内) 宇佐見KK毛織部 (大阪市東区谷町二丁目)	神戶市東区熊内町三ノ七七 大阪府北河内郡豊屋川町池田一 七九
杉井俊一	東洋模範物産KK (大阪市西區土佐堀北二丁目)	大阪府守口市長池町五二八ノ二 和歌山県海南市名高二一九(電・ 海南・九六四)	田中善郎	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
杉本源太郎	自営、豆徳(食料品業) 自営	滋賀県近江八幡市宮内町(電・ 近江八幡・五二)	谷村喜四郎	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
鈴木淳雄	自営	大阪府吹田市片山本町二二六 神戶市兵庫区荒田町二丁目二七 一	谷邦夫	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
高垣和夫	自営	兵庫県多紀郡北河内村垣屋三三 三	田端保文	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
高木健藏	自営	神戶市灘区記田町一ノ六	田村弘一	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
高田正巳	KK七福相互銀行 (神戸市生田区三宮町) 自営(高橋織工場)	大阪府東区谷町二丁目	田村裕介	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
高橋英治	KK共同組 (大阪市福島区西梅田町一七) 大同生命保険相互会社愛知支社	大阪府東区谷町二丁目	田村安徳	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
高橋隆夫	自営	大阪府東区谷町二丁目	田村成	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
高橋利和	自営	大阪府東区谷町二丁目	田部彰	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
竹内敬佳	自営	大阪府東区谷町二丁目	辻村彰	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
竹島寛之	自営	大阪府東区谷町二丁目			

土屋定久	自営(洋服商)	大阪府阿倍野区王子町二ノ二二 (電・天下茶屋三三三六)	永富経夫	公認会計士吉城貴一郎事務所 (布施市足代三丁目一六) 千代田産業KK (彦根市東沼波町) 川崎製鉄KK(神戸市葺合區協 浜町三丁目) 泉製作所 (東京都品川大井寺下町)	大阪府東区谷町二丁目
角田健三	自営(料理業)	和歌山県海南郡東山東村永山 神戶市長田区東尻池二丁目一五 (電・湊川五八〇五、一四四六)	中村昭吉	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
坪井謙藏	自営	京都府舞鶴市字和田七七一 兵庫縣姫路市網干区新在家四一 六	中村雅有	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
津村卓男	早稲田大学院商学研究科 自営(洋品商)	東京都新宿区戸塚町一ノ四七〇 遠藤しずえ方 福岡県門司市栄町五丁目(電・ 二八六二)	中元平治	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
寺田安夫	大阪経済大学聴講生 兵和車輛工業KK (神戸市葺合區勝浜町二丁目) 寿金物KK(大阪市南区北炭屋 町一二)	和歌山県向町一〇〇 大阪府阿倍野区天王寺町南二丁 目五三	中村一雄	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
寺田貞義	大阪府東区谷町二丁目	西宮市川西町一	西尾和男	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
德岡深	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	西田幸雄	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
十倉義	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	西野栄一	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
戸野正博	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	根来良行	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
豊島昭	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	野崎昌亮	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
豊田智之	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	野村外次	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
直井政市	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	橋本成寛	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
永江静夫	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	橋本成寛	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
長尾光国	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	長谷川哲三	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
中上延幸	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	長谷川哲三	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
中川海治	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	畑政雄	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
中島一民	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	畑政雄	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
中田友正	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	畑政雄	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
永田昭	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	畑政雄	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目
中竹哲雄	大阪府東区谷町二丁目	神戶市東灘区御影町浜弓場二五 九	畑政雄	大阪府東区谷町二丁目	大阪府東区谷町二丁目

林忠義	和歌山相互銀行扇之芝支店(和歌山市湊通)	二、阪和アパルト	藤本重幸	自營	兵庫加古郡稲美町母里蛸草二三八ノ一
林勉	和歌山相互銀行扇之芝支店(和歌山市湊通)	三、八	藤本幸男	今川証券KK調査部 (大阪府今川二丁目二四)	尼崎市昭和南通六丁目一四五 (電・尼崎八四八)
早瀬知保	日東化成KK(大阪市東淀川区国次町九〇六)	大阪府三島郡島本町桜井西側妹尾敏夫方	藤山忠勝	東条西中学校(兵庫東加東郡東条町吉井)	豊中市上野四丁目一四〇ノ八
伴直	高槻市八ヶ嶽	大阪府泉大津市田中町六七	堀見昌敬	大阪府港灣局 (大阪府港灣千船橋)	兵庫東加東郡社町山国一五七九
肥塚隆雄	日本通運玉造営業所 (大阪市天王寺区黒門町)	西宮市常盤町二〇(電・西宮・二一四七)	細川清	コスモス無線用品KK(東京都千代田区神田淡路町一ノ九)	尼崎市金葉寺八反田二二
日出英実	大久保中学校 (明石市大久保町)	明石市東魚町三二(電・明石・二五三三)	本田敬二	大日通運KK大阪営業所(大阪府西宮市本田二番町二〇ノ二)	東京市杉並区方南町四六八 (電・中野三八〇三六)
平尾晃	和歌山相互銀行本店営業部 (和歌山市新通)	和歌山県東成区大今里北ノ町五ノ二一〇	松井栄斗	阪神燃焼器KK (神戸市生田区加納町六丁目)	京都府福知山市岡ノ上
平田健	和歌山相互銀行本店営業部 (和歌山市新通)	和歌山県東成区大今里北ノ町五ノ二一〇	松岡辰秀	昭和繊維製品KK(泉大津市助松一八七)	神戶市東灘区本山町小路七四 宗重方
平松俊次	吹田電機製作所資材科(吹田市西泉町)	東京都太田区下丸子町二〇四	松嶋達雄	神戸税関監視部 (神戸市生田区加納町六丁目)	大阪府八尾市跡部八六〇
平山秀幸	大阪中央郵便局 (大阪府北区梅田、大阪駅前)	堺市鳳北町三丁目九二	松田亮美	大阪厚生信用金庫(大阪府西成区柳通四丁目七ノ一)	兵庫東尼崎市長松ノ内二七
福住洋司	KK曾我商店 (大阪府東区伏見町四ノ三〇)	堺市八千代通三丁目二九	松永四郎	大光商事KK (大阪府南区鶴谷西之町四〇)	大阪府泉大津助松一八七昭和寮 (電・泉大津・一四〇一三)
福田克己	大阪府庁 (大阪府東区大手前)	大阪市住吉区粉浜東之町三ノ八	丸岡啓二	上組合資会社 (神戸市東灘区浜辺通)	宝塚市鹿塩字大原二七ノ二
福田時彦	大興産業KK(神戸市生田区加納町三丁目一)	神戸市須磨区太田町五丁目鋼筋住宅三八	三浦敏彦	大成建設KK作業所(宇都宮市大字小串一八七ノ六)	布施市足代一ノ二
藤田邦夫	九州相互銀行下関支店 (下関市竹崎町まるは通り)	山口県大島郡沖浦戸田一八八ノ一	水田孜	大阪石炭振興KK(大阪府西宮市鳴尾町本郷角間二七)	大阪府住吉区万代東三ノ一六
藤原国繁	大成運輸KK (神戸市生田区播磨町四五)	兵庫東明石市西本町六六ノ二	南沢正広	吉田酒問屋KK (大阪府北区堂山三〇)	西宮市江上町二九ノ一
藤光彦	KK山口相互銀行 (山口県大島郡久賀町)		宮地守正		神戸市生田区山本通四丁目二四 ノ一六 京谷幾松方
藤村博			三宅悦雄		池田市宮ノ前越井一八〇ノ一

三宅隆	玉島信用金庫東支店 (岡山県玉島市常盤町)	岡山県倉敷市連島町西之浦五七二	山口清	大阪金属工業KK(大阪府北区梅田町四七新阪神ビル九階)	神戸市須磨区大手町二丁目一〇
宮谷将史	鈴木合金KK(大阪府大正区福町一丁目一五)	大阪府阿倍野区美章園二ノ七九	山口登	山金KKKK(大阪府城東区鶴見町一、一八八)	大阪府城東区鶴見町一、一八八 (電・城東五七八〇)
宮原史郎	山陰合同銀行浜田支店 (島根県那賀郡浜田市)	島根県那賀郡温泉水町本町	山口平八郎	KK大阪陶器商會(大阪府東区高麗橋四ノ一〇島ビル内)	大阪府枚方市中振八九三
宮本龍男	大阪不動銀行(大阪府西區江戸堀下通一ノ五三)	東京都大田区調布嶺町一ノ四ノ五 東鐵調布寮内	山崎輝治	東洋鉄鋼製造KK福岡出張所	福岡市西職人町五七田中仙市方
宮本遙	東洋繊維KK	大阪府東住吉区西今川町五ノ一五	山崎昌彦	姫路市立東小学校 (姫路市市之郷二丁目)	兵庫東姫路市五郎衛門邸一ノ六
三好幸夫	日向日々新聞社 (宮崎市高千穂通二丁目)	宮崎県島郡高鍋町五〇九 (電・高鍋・三六六)	山下昌克	自營(山田豊次郎商店)	兵庫東伊丹市主基町五四一ノ一
三輪達人	KK海文堂 (神戸市生田区元町通三丁目)	神戸市生田区楠町三丁目二二 (電・元町(四)五六八六)	山田昌彦	山本機寸KK (姫路市白浜町甲三七八)	兵庫東川西市加茂一三
村上延三	大阪不動銀行(大阪府西區江戸堀下通一丁目五三)	大阪府阿倍野区西田辺町四二	山根繁	大阪国税局税務講習所大阪支所 (神戸市垂水区垂水町一七〇)	兵庫東姫路市白浜町甲三七八 (電・白浜・五七)
村上健一	大光商事KK (大阪府南区鶴谷西之町四〇)	大阪府東淀川区大隅通一ノ九八西本方	山本岸二郎	KK田忠商店東京出張所(東京都中央区日本橋堀留町一丁目志)	大阪府枚方市市子作三〇〇〇 税務講習所
村田郁夫	耕会計事務所	大阪府東住吉区山坂町四四八	山城敏暢		同上(電・夢場四七二三)
村田康展		西宮市山口町下山口四四六	結城敏暢		石川泉金沢市下近江町二四
森井久義		西宮市山口町下山口四四六	柚木春繁		兵庫東姫路市町之洋三七四
森畑幸治郎	東洋電機通信工業KK(大阪府東区高麗橋二丁目三井ビル)	兵庫東多紀郡今田村辰巳一四	横内春義	大島村立保倉中学校(新潟県東頸城郡大島村字太平)	新潟県東頸城郡大島村大平局内大字大平 岩野倉蔵方
森本昌男	(自営)食糧肥料(滋賀県根市東新町五四)	滋賀県根市外船町一〇五	吉岡昭	吉川タオールKK(大阪府東区北久宝寺町二ノ二)	大阪府豊中市市本町七ノ四七 (電・豊中四一二七)
盛本正幸	有限会社モンデン書店代表取締役(川西市小字藤ノ木六)	Box 60 Rosemary Alberta Canada	吉田正	大阪医師協同組合(大阪府天王寺区上本町三ノ三三)	兵庫東加古川市本町一丁目
門田政徳	大阪東運送KK (大阪府東区安土町一ノ五)	兵庫東川西市小字藤ノ木六	吉持信	大阪府農地部耕地課泉佐野土地改良事務所(大阪府泉佐野市日根野東上五五七)	大阪府阿倍野区昭和町中四ノ三
保野和生		大阪府松原市西大塚町二六〇	米本良平		岸和田市別所町一七七
矢野耕造		兵庫東加東郡林田上構	頼藤四郎		兵庫東川辺郡宝塚町川面字大敷一六
戴下忠司	KK建材社大阪支店(大阪府北區中之島朝日ビル内)	兵庫東加東郡三輪町志手原二四八	若林幸雄	KK三陽商會大阪支店 (大阪府南区周防町二五)	大阪府旭区森小路五丁目二四
山内敏之	自營(メリヤス、ゴム製造販)	和歌山市湊葵町一三三	和佐岩男		和歌山県海草郡和佐村井ノ口

和田史
光藥品KK
(大阪市東区平野町二ノ四二)
和吉弘
興亜紙製品工業KK
渡辺泰敏

第二學部

氏名 勤務先
青木平吉 天理市教育委員会事務局
(天理市川原城)
赤崎昭七 大日本プロパン瓦斯KK日本橋
営業所(大阪市南区日本橋筋三
丁目二二)
淺居浦彦 福一KK
(大阪市東区平野町一ノ一五二)
東德治 日本通運KK大阪支店
(大阪市北区梅田町九二)
足達悦朗 大阪市立桃山病院
(大阪市天王寺区筆ヶ崎町二五)
尼崎秀巳 日本油脂KK大阪支店
(大阪市北区新地町三三三)
綾部正幸 日立造船KK桜島工場機械部
(大阪市此花区桜島南之町一)
五十嵐清重 日本電信電話公社神戸中央電話
局元町分局P・B・X(神戸市
生田区東川崎町一丁目)
達口昭夫 川崎製鉄KK
(西宮市朝風町一)
井崎正也 第一銀行大阪支店(大阪市東区
高麗橋四丁目二二五)
糸井完次 大東京火災海上保険KK梅田營
業所(大阪市北区小松原町三三)
印藤好一 国立衛生試験所大阪支所
(大阪市東区法四坂町六)
井上潤一郎 日本製鋼所大阪支社
(大阪市北区堂島中一ノ一八)
井上誠郎 大阪市大教組書記局
(大阪市西區阿波座中)
内海哲雄 新三菱重工神戸造船所
(神戸市兵庫区和田町)

大阪市北区此花町二丁目一九
兵庫県有馬郡道場村目下部八七
池田市城南町三一六
(電)池田一六八九

住 所
奈良県天理市長柄五九四
大阪市阿倍野区帝塚山西一ノ一
山口方
大阪府生野区南生野町五ノ六八
奈良県磯城郡村大字富本一四
吹田市片山本郷町清和寮
(電・吹田88六二六)
奈良県生駒郡伏見町大字西大寺
六七
吹田市北泉町三三二九
明石市大久保町中番九九九ノ一
西宮市松谷町越水寮
茨木市大字太田新田四ノ一
第一銀行三島寮内
大阪府豊能郡箕面町白鳥三五四
大阪府高槻市上牧二五〇
大阪市住吉区帝塚山東五ノ三五
(電・住吉67三九五三)
大阪府布施市西堤五二〇
神戸市垂水区西垂水町東霞丘一
六七五ノ一

梅沢晃 全国事務局長連絡事務局(神戸市
生田区海岸通商船ビル内)
大台視佐司 尼崎市消防局
(尼崎市昭和通二丁目五二)
大西富久藏 伊丹簡易裁判所
(伊丹市高畑町)
大前喬 奈良水道局
(奈良市東寺林町)
大間知寛二 大阪府立大学
(堺市百舌東之町)
大村保 山一証券KK十合投資相談所内
(大阪市南区心斎橋筋十合内)
岡田清春 西宮市役所甲東支所
(西宮市神呪町一〇)
岡本晴之 日本電信電話公社近畿電気通信
局(大阪市北区中之島六丁目)
岡本光司 大阪堂島會計事務所(大阪市北
区網走町堂島ビル八二〇号)
岡本光正 大阪府守口市紅屋町二三
(大阪府三島郡味生町正雀一)
小川権太郎 大阪商船KK営業部
(北區宗是町一)
奥代重善 財団法人日本紡績検査協会東京
事務所(東京都中央区日本橋小
伝馬町二ノ二五) 滋賀ビル内
川端一夫 川端商店
(北區中崎町一二六)

尼崎市上坂部九〇二
(電・尼崎48二六三三)
大阪市旭区大宮町九ノ一六二
神戸市灘区尾崎三丁目十一
大阪府福島区吉野町一ノ二〇
奈良市西大寺町
三重県飯南郡射和村大字射和
大阪府住吉区住吉公園官有地
(電・住吉67二二九二)
西宮市広田町一四四
東京都港区芝高輪北町一五港南
荘六三三 久保方
西宮市樋ノ口町二ノ一
京都市中京区壬生東土居ノ内町
三三
尼崎市浜八反田九の二
大阪府三島郡富田町一四
京都市下京区西九条藏王町一三

川崎省吾 大阪府吹田市城ヶ前町 城ヶ前
鉄道寮内
大阪府阿倍野区昭和町東二ノ一
八
大阪府西成区山王町二丁目二四
大府吹田市大字東七八八八
高槻市北園町三一六 若寿寮
京都市中京区壬生潤田町三七
二 照園荘内
大阪府城東区放出町一七三

大阪府住吉区我孫子町一ノ五〇
市営我孫子東第一鉄筋住宅二ノ
二〇
和歌山県橋本市隅田町中崎
神戸市兵庫区有野町二六六〇二
大阪府北河内郡門真町古川橋八
二
池田市城南町四七七
吹田市御旅町、松月園アパート
大阪府福島区今開町一ノ三三
大阪市東淀川区上新庄町二丁目
三二九
大阪市東淀川区三津屋中通り四
丁目四〇
大阪府阿倍野区阿倍野筋三ノ七
二市職員寮
神戸市兵庫区馬場町四〇三
大阪府高槻市上田部二三四
同上寮内
大阪府港區三先町四丁目四七
日發社宅内
大阪市東淀川区北大道町二丁目
二八 野畑幸一郎方
大阪府東淀川区下新庄町四ノ一
五六
奈良市法蓮山添東町七八七
石川泉金沢市川岸町四三四
広島高田郡根村二八一五
大阪市大正区南恩加島町六五ノ
四
神戸市兵庫区登松通六丁目一ノ
一(電・湊川6一三二二)
大阪市城東区古市北通り四丁目
十三 郵政住宅十四号

清崎弘 三和銀行都島支店
(大阪市都島本通三丁目)
倉田秀太郎 KK増進堂
(西區新町南通三ノ四八)
小池映男 竹中KK
(東區北久太郎町二ノ二六)
左京繁雄 内外紙工KK
(都島区高倉町三丁目)
笹田雅彦 大阪府水道局浄水所
(東淀川区浜町一)
佐藤誠一 大阪府特殊製鋼KK
(大阪府三島郡味舌町正雀一)
佐野好明 帝國産業KK
(大阪府貝塚市津田六七)
重久英麿 農 業
芝田吉浩 大阪市信用金庫(大阪市東区北
浜二丁目二〇ノ二)
庄田友衛 大阪府紡績KK業務部綿糸課
(東區備後町四ノ三四)
鈴木英彦 關西電力KK
(北區梅ヶ枝町)
高田輝夫 秋山護謨KK
(堺市吾妻橋通二ノ一)
橋巳勝馨 大阪国税局調査査察部
(東區杉山町一)
田中栄治 昭和會計事務所
(東淀川区瑞光通り三ノ四六)
田中栄実 文龜商店(大阪市福島区大阪中
央御売市場内)
谷谷龍生 神戸市役所
(神戸市兵庫区松本通一丁目)
田淵栄次 天満御市場菓子問屋加津屋
(北區池田町二二一)
田村実之 上組合資会社
(神戸市葦合区浜通四ノ五)

大阪市東成区南中道町三ノ一〇
大阪市東淀川区上新庄町四九三
の二
大阪府福島区中江町一六六
豊中市本町九丁目一 池川方
大阪府旭区赤川町三ノ五〇三
大阪市旭区森小路二ノ六
吹田市岸辺東町七六八
徳島県名西郡浦北村下浦四七四
大阪府貝塚市堀一九一
兵庫県有馬郡広野村福島四三四
大阪市東淀川区瑞光通一ノ十二
大阪府城東区今橋南一ノ五一
西宮市今津二葉町三一
堺市北瓦町三ノ一七四 佐藤方
大阪市東淀川区相川西通一ノ十
一
茨木市太田ノ内高田三〇七
京都府相楽郡精華村字下狛
大阪市西成区長松通五ノ一七
大阪府東住吉区田辺東ノ町三ノ
四五
大阪府北區曾根崎上一丁目四七
岩田芳雄方
神戸市長田区細田町五丁目七
(電・兵庫6一四〇四)
大阪市旭区赤川町一ノ二八九
神戸市葦合区熊内町四丁目七七

堤陽 東洋電機製造KK大阪営業所
(北區角田町三二一 阪急航空ビ
ル七階)
和歌山県土本郡橋本土木出張所
(和歌山県橋本市)
神戸市立上落場(神戸市長田区
洲通七丁目二五)
日本触媒化学工業KK
(吹田市御旅町)
大阪府豊能地方事務所(大阪市
池田市栄町二丁目一九九二)
KK東海銀行大阪支店
(東區北浜三丁目二二)
大阪府北區役所税務課
(北區曾根崎上一丁目三七)
神戸大学本部文部事務官
(神戸市灘区六甲台町)
大日本セロフアンKK
(大府府高槻市芥川六の六)
三原高等学校
(兵庫縣三原町字内行寺)
大阪音楽短期大学
(豊中市大字野田一六〇)
大阪府港灣局
(大阪市港區三条通一ノ一〇)
奈良みすしまKK
(奈良市杉ヶ町三三)
北国銀行
(石川泉金沢市下堤町)
川根中学校
(広島県高田郡川根村)
大阪国税局総務課広報係(大阪
市東區杉山町一) (電・55七)
神戸市兵庫区役所
(神戸市兵庫区下沢二丁目)
大阪港灣局貯金課
(港區市岡元町四ノ二)

大阪府吹田市城ヶ前町 城ヶ前
鉄道寮内
大阪府阿倍野区昭和町東二ノ一
八
大阪府西成区山王町二丁目二四
大府吹田市大字東七八八八
高槻市北園町三一六 若寿寮
京都市中京区壬生潤田町三七
二 照園荘内
大阪府城東区放出町一七三

藤村秀和	大平住宅相互KK (大阪南区鶴谷仲之町一九)	奈良市尼ヶ辻町三ノ三九〇ノ一	森影勇	KK竹中工務店分室 (北区堂島中町二ノ三〇)	大阪市北区堂島中町二ノ三〇
船越博	関西電力KK神戸支店資料課 (神戸市生田区江戶町八八)	神戸市兵庫区東山町二丁目新町 第十六号	森田昌治	農林省食糧庁兵庫食糧事務所 (神戸市兵庫区磯辺通四丁目新 神戸ビル五階)	竹中工務店分室内 加古川市平岡町新在家一〇二九 (電・加古川六五八)
古川均弘	堀江社会保険 (大阪市西区西長堀南通四ノ九)	豊中市浜五八二ノ一	盛谷茂	大編工業KK (大阪市南区鶴谷仲之町四九)	大阪市北区樋上町二 川村商会 奈良県北葛城郡王寺町字王寺四 〇九〇 (電・王寺二六五)
前川達磨	KK久保孝 (大阪市東淀川区国次町九二四)	大阪市東淀川区瑞光通二ノ一五 木下正明方	山口義孝	大阪府庁総務部教育課 (大阪市東区大手前之町二ノ二)	大阪府枚岡市日下町五四一
牧正治	日東紡績KK大阪支店原部 (東区北浜二ノ九〇)	吹田市垂水二六二 日本寮 (電吹田三二六二)	山田智士	堺市南瓦町一丁目五 (堺市南瓦町一丁目五)	大阪府東住吉区平野流町八三九
増田勝彦(薫)	山本農業KK (大阪府東区北郡和泉町中駅前)	大阪市阿倍野区長池町三三 富士アパート内	山根敏男	日立造船KK松島工場 (神戸市此花区松島南之町一七)	大阪府東淀川区国次町二四〇
増田三郎	大阪府東区北郡和泉町中駅前 (北区若松町八)	尼崎市昭和北通五ノ一六一	山名信太	神戸市役所統計課 (神戸市兵庫区松本通一)	神戸市長田区萩之町三丁目一
松尾宏志	大阪紡績KK (東区南久太郎町四丁目二五)	大阪市旭区森小路五の一四二	山本達雄	中山商事KK (大阪市東区南本町二ノ六)	大阪府岸和田市藤井町三八三
松川弘	室町証券KK大阪支店 (大阪市東区北浜二丁目七〇)	大阪府南河内郡狭山町大字半田 四五六	矢島博	武田産業KK(岸和田市春木若 松町六六九ノ一)	同上 (電・岸和田一四二、二〇二七)
松沢実	大阪市立大学図書館 (住吉区杉本町)	大阪府城東区新喜多町二ノ五六 仲野方	横田正統	日本電信電話公社大阪地方電気 通信部 (大阪市南区瓦屋町二番丁)	芦屋市岩園町一五〇ノ九号
松本博太郎	三和銀行本店外国部 (大阪市東区伏見町四)	大阪府西成区梅南通一ノ七	米山正成	三菱電機KK神戸製作所 (神戸市兵庫区和田崎町三丁目)	大阪府北河内郡四宮村上島頭二 九〇
三浦猛	灘簡易裁判所 (神戸市生田区橋通二丁目三〇)	大阪府城東区古市北通一ノ二三 (電・城東三三八八)	渡辺孝次郎	大阪府池田市綾羽町一丁目二五 七九ノ一	奈良県吉野郡川上村西河
三上富士雄	駐留軍西南地区天津キャンパ (大津市別所)	神戸市生田区加納町二丁目一八 ノ二一 小笠原誠雄方	渡部定雄		
三木昭雄	大阪府貿易観光案内所(東京都 千代田区丸の内国際観光会館内)	大阪市西成区本町二丁目一〇六 上坂英二郎方			
三谷義弘	日本工具製作所 (大阪市東淀川区野中北通)	東京都杉並区馬橋三ノ三八三、 高橋辰久方			
三宅隆治	大阪市立瑞光中学校(大阪市東 淀川区瑞光通五ノ一〇)	大阪市東淀川区大隅通一ノ一			
宮本健一	大阪府民生部保険課天満社会保 険出張所(北区浪花町四ノ一)	伊丹市千鶴北垣内三五			
宮元進	自営(魔法瓶、水筒の吊組商)	大阪市旭区大宮町一〇ノ二三 松葉荘内			
村岡俊一	大津橋労働出張所事業係 (大阪市大正区今木町一ノ五)	大阪市西成区鶴見橋北通三ノ二 (電・戎四一九四三)			
村地巖		大阪府生野区鶴橋南之町二丁目 五七七九			
牟禮義治					



先づは明けてお芽出度う

◎澱江第七号は、全くLucky Sevenでも

謂ふべく、迎春の初日を浴す光栄を得て、御同慶の至り……。

茲に謹んで福井学長始め、御寄稿を賜った諸先生方、並びに同窓諸兄に満腔の謝辞を捧ぐる次第である。

◎菅野先生の御外遊、最もいきのよいあちらの土産話を頂戴致し度く、期待したが、相悪く、保守合同の大詰で、上京中とて、御流れとなり、本誌にとつて、洵に画竜点睛を欠くの憾がある。

◎支部便りに於て、岡山支部より「黒正前学長の追憶会」の記事に接し、式の模様を如実に拜し得て、当日を想えば誠に感無量である。

各地支部の活躍には、遂年、刮目すべきものあり、誠に心強く、頼もしき

限りである。尚一層の御自愛、御奮斗を祈る。

序でながら、原稿遅延のため、本文の一部を割愛の止むなきに到った姫路支部のお便りには、当欄にて御詫びと、お小言を申し上げて置く。

◎日頃御無沙汰の旧先生方より大変懐しいお便りを頂き、欣喜雀躍、特輯とした。爾今毎号の連載と致したく、御便りの程を御待ち申上げる。殊に、澁谷先生よりの熱情たぎる「国民反省の歌」を賜り、中央見開きに輯録。特アートの別刷なれば更に之に如かずなれど……紙面の都合に依り、短歌は後頁と相成りしは、御諒承お願い申上げたい。

◎本誌に於て、特に学園の自治会、或は応援団歌集等等、在学生より多大の投稿を見た。我が学園の象徴たる融和の具現化とも視るべく、欣快と云はねばならない。

◎会報、会誌等は、免角、堅苦しくなり

勝ちであるに鑑み、竿頭一步を進め、敢へて、ノイローゼWを採った。大方諸賢の叱正御批判を乞ふ。

◎十一月二十日総会当日を皮切りに、今年こそはと、編輯部一同、日夜奮励努力すれど、御多聞に漏れず年末社用のきりぎり舞ひ、自動車部会の杉本英次君より一方ならぬ御助力を請け、感謝の外なし。最後に御礼を申上げて筆を擱く。

澱江第七号

昭和三十年十二月一日編輯

昭和三十年十二月二十五日印刷發行

發行所 大阪市東淀川区大隅通り

大阪経済大学同窓会

印刷所 大阪市旭区新森小路北二

共栄紙業印刷所

發行責任者 宇野善四郎

十三回年 寄贈